



RIKEN TECHNOS

リケンテクノスグループ
RIKEN TECHNOS GROUP

Blue Challenge Report

サステナビリティレポート

2021



リケンテクノス株式会社

編集方針

リケンテクノスグループは、サステナブルな社会への貢献を目指し、様々な活動を行っております。2020年4月から、リケンテクノスグループの「サステナブルな社会への貢献」に係わる活動全体を「Blue Challenge(ブルーチャレンジ)」と総称し、SDGsを軸とした活動を活発化させています。「Blue Challenge」のBlueは、当社のロゴマークにあるRIKENブルーや地球、海、空などを表し、Challengeはリケンテクノスウェイのミッションにある「チャレンジメーカー」に由来しています。「Blue Challenge」は、サステナブルな社会への貢献を目指すリケンテクノスグループの挑戦です。本報告書では、ステークホルダーの皆様と共に持続可能な社会を目指していくための取り組みを報告いたします。特集では、当社のサステナブルな社会への貢献を目指した製品開発についてご紹介しています。

「すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して」リケンテクノスグループが取り組んでいる内容をご理解いただければ幸いです。

● 報告書の対象範囲

報告対象期間

2020年4月1日～2021年3月31日

なお、本報告書には一部2021年度の活動内容も含まれています。

報告対象範囲(所在地は14～17ページをご覧ください)

本報告書における環境報告の対象範囲は、リケンテクノス(株)およびそのグループ会社下記19社です。項目によってはグループ会社を含まない場合もあります。

対象グループ会社名

- リケンケーブルテクノロジー株式会社
- 株式会社協栄樹脂製作所
- リケンテクノスインターナショナル株式会社
- リケンケミカルプロダクツ株式会社
- リケンファブロ株式会社
- 株式会社アイエムアイ
- RIKEN (THAILAND) CO., LTD.
- RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.
- PT. RIKEN INDONESIA
- 上海理研塑料有限公司
- 理研食品包装(江蘇)有限公司
- RIKEN AMERICAS CORPORATION
- RIMTEC CORPORATION
- RIKEN ELASTOMERS CORPORATION
- RIKEN VIETNAM CO., LTD.
- 理元(上海)貿易有限公司
- RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL KOREA CORPORATION
- RIKEN U.S.A. CORPORATION
- RIKEN TECHNOS INDIA PVT. LTD.

報告対象分野

本報告書はリケンテクノス(株)およびグループ会社の経営・社会・環境に関する取り組みを報告しています。

● 参考にしたガイドライン

本報告書の構成については、以下を参考に作成しました。

- 「環境報告書ガイドライン(2018年版)」(環境省)
- 「環境会計ガイドライン2005年版」(環境省)ISO26001

● 持続可能な開発目標(SDGs)



持続可能な開発目標(SDGs)とは、「Sustainable Development Goals」の略称です。このSDGsは、2015年9月の国連サミットで150を超える加盟国によって採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられている持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成されており、2030年における世界のありたい姿を示しています。リケンテクノスグループもこのような動きを参考にしつつ国際社会の一員として持続可能な社会を目指す取り組みを強化していきます。

RIKEN TECHNOS GROUP Blue Challenge Report 2021

表紙について

リケンテクノスのコーポレートマークと東京2020オリンピック競技大会のピクトリーブーケのイメージを融合したデザインにいたしました。

コーポレートマークは2001年の創立50周年を機に社名変更と同時に一新したもので、RIKEN TECHNOSの“R”をベースに、コア事業であるコンパウンドとフィルムのイメージを組み合わせ信頼感を表し、未来へ羽ばたくしなやかな翼の形を表現しています。

リケンテクノスグループは、持続可能な社会の実現をステークホルダーの皆様と共に考え、行動していきます。



発行時期

2021年10月

発行経歴

年度	発行年月	名称
2002	2002年10月	環境報告書
2003	2003年 9月	//
2004	2004年10月	//
2005	2005年10月	環境経営報告書
2006	2006年10月	//
2007	2007年10月	CSR報告書
2008	2008年10月	//
2009	2009年10月	//
2010	2010年10月	//
2011	2011年10月	//
2012	2012年10月	//
2013	2013年 9月	//
2014	2014年 9月	//
2015	2015年 9月	//
2016	2016年 9月	//
2017	2017年 9月	//
2018	2018年 9月	//
2019	2019年 9月	サステナビリティレポート
2020	2020年10月	Blue Challengeレポート
2021	2021年10月	//

目次

編集方針	2
リケンテクノス ウェイ	4
TOP Message	6
特集 サステナブルな社会への貢献を目指した製品開発	8
リケンテクノスグループの概要	
リケンテクノスグループ概要	12
国内・海外ネットワーク	14
製品のご紹介	18
コーポレート・ガバナンス	20
社会性報告	
お客様とのかかわり	26
お取引先様とのかかわり	30
地域の皆様とのかかわり	32
従業員とのかかわり	40
株主様とのかかわり	46
環境報告	
品質および環境活動	47
活動結果の概要	50
有識者の意見	57
編集後記	57



RIKEN TECHNOS

リケンテクノス ウェイ

RIKEN TECHNOS WAY

創業当時から引き継いでいる「ベンチャー精神」こそ、

リケンテクノスの強みであり、「リケンらしさ」です。

この「リケンらしさ」をもとに経営理念である「リケンテクノス ウェイ」は策定されました。

ミッションにある「チャレンジメーカー」という言葉は造語ですが、

製造業という意味でのメーカーという他に、

挑戦して何かを創り出す人という意味もこめられています。

未来の飛躍のために、これからも常識にとらわれず挑戦し続けてまいります。

ミッション

“使命・存在価値”

私たちは科学の力で
豊かさ、安心、快適を創り出す
チャレンジメーカーです。

独創的で卓越した、樹脂素材の配合加工技術で、
企業と人と社会に新たな価値と喜びを
提供し続けます。

コア・バリュー

“基本的価値観”

信頼しあい貢献しあう
新しい価値を生み出す
常に挑戦し成長する
仕事を楽しみワクワクする
共に解決し共に喜ぶ

リケンテクノスグループ企業行動規範

ー持続可能な社会の実現のためにー

当社および当社子会社(以下、「グループ各社」という。)は、
リケンテクノス ウェイの実践をとおして持続的に成長し、公正かつ自由な競争のもと、
持続可能な社会の実現を牽引する役割を担っています。
そのためグループ各社は、国の内外において次の10原則に基づき、関係法令、
国際ルールおよびその精神を遵守しつつ、高い倫理観をもって社会的責任を果たしてまいります。

1. 社会的使命

イノベーションを通じて社会的に有用で安全な製品・商品を開発・提供し、
持続可能な経済成長と社会的課題の解決を図る。

2. 公正な事業活動

公正かつ自由な競争ならびに適正な取引、責任ある調達を行う。
また、贈収賄等を防止し、政治・行政との健全な関係を保つ。

3. 公正な情報開示・ステークホルダーとの建設的対話

企業情報を積極的、効果的かつ公正に開示し、企業をとりまく幅広いステークホルダーと
建設的な対話を行い、企業価値の向上を図る。

4. 人権の尊重

すべての人々の人権を尊重して事業活動を行う。

5. 法律の遵守・国際規範の尊重

各国・地域の法律の遵守、各種の国際規範の尊重はもとより、
文化や慣習等に配慮した事業活動を行う。

6. 顧客との信頼関係

顧客に対して、製品・商品に関する適切な情報提供、誠実なコミュニケーションを行い、
満足と信頼を獲得する。

7. 働き方の改革・職場環境の充実

従業員の能力を高め、多様性・人格・個性を尊重する働き方改革を実現し、
健康と安全に配慮した働きやすい職場環境を整備する。

8. 環境問題への取り組み

環境問題への取り組みは企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、
自主的かつ積極的に環境に配慮した事業活動を行う。

9. 社会・地域への貢献

「良き企業市民」として、積極的に社会や地域に参画し、その発展に貢献する。

10. 危機管理の徹底

市民生活や企業活動に脅威を与える反社会的勢力の活動や
テロ、サイバー攻撃、自然災害等に備え、組織的な危機管理を徹底する。

経営トップの役割・責任

経営トップは、本規範の精神の実現が自らの役割であることを認識して経営にあたり、実効あるガバナンスを構築して社内、グループ各社に周知徹底を図る。あわせてサプライチェーンにも本規範の精神に基づく行動を促す。また、本規範の精神に反し社会からの信頼を失うような事態が発生した時には、経営トップが率先して問題解決、原因究明、再発防止等に努め、その責任を果たす。

リケンテクノスグループ贈収賄防止に関する基本方針

当社および当社子会社(以下、「グループ各社」という。)は「リケンテクノス ウェイ」・
「リケンテクノスグループ企業行動規範」に則り、贈収賄防止に関して本方針を定める。

1. (贈収賄行為の禁止)

グループ各社は、事業を行う国および地域の法令、ガイドライン等により適正と認められる範囲を超える金品その他経済的利益の提供または受領を行わない。

2. (体制の整備)

グループ各社は、贈収賄等のコンプライアンス違反またはそのおそれのある行為を早期に発見し、是正すべく、内部通報制度を含めた贈収賄行為の防止体制を整備する。

3. (記録の保持)

グループ各社は、贈収賄行為が行われていないことを合理的に証明できるよう、正確かつ適正に記録を作成し、保持する。

4. (教育・調査への協力)

グループ各社は、贈収賄行為の防止に向けた定期的な教育・研修を実施する。本方針に反する行為またはそのおそれのある行為を発見した場合には、厳格に処分を行い、関係当局による調査に真摯に協力する。

長引く感染症との闘い

昨年からの新型コロナウイルス感染症との闘いは、未だ終焉を迎えることなく、私たちの日々の暮らしに大きな影響を与え続けています。この長き期間にわたり、過酷な環境下で日々奮闘されている医療従事者の方々、関係者の方々へ深謝申し上げます。また、この場を借りて、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、療養中の方々の一日も早い回復を願っております。

More Value to All 2021 ～共に生み出せ!さらなる価値を!～

リケンテクノスグループの3か年中期経営計画は、今年で最終年度を迎えます。中期経営計画がスタートして以来、想定以上の世界的な危機がいくつも訪れています。新型コロナウイルス感染症の蔓延、当社にとって欠くことのできない原材料の川上の原油価格の乱高下、各地で頻繁に発生する自然災害などです。このような危機に見舞われながらも、リケンテクノスグループは経営方針である「More Value to All 2021～共に生み出せ!さらなる価値を!」に基づき、環境の変化に対応しながら、製品開発から製造の現場、営業活動を通してお客様へより良いものをお届けできるよう努めてまいりました。そして、3か年中期経営計画の最終年度においても「さらなる価値」をお届けできるよう取り組んでまいります。

Blue Challenge サステナブルな社会へ貢献する製品 開発

このように様々な危機が次々と訪れる中、当社グループの掲げる主要課題「サステナブルな社

会への貢献」について、今まで以上にスピードと具体的な実行力をもって推し進めていくことが重要であり、昨年よりこれらの取り組み全般を「Blue Challenge」と称し強化しております。SDGsを意識しながら化学メーカーとしての責任を果たすべく、燃費向上などの環境負荷低減を目指した製品の開発や、廃棄・リサイクルを視野に入れた製品の開発、さらには感染症対策製品「リケガード[®]」の拡販と、新機能ラインアップの拡充などを重点的に行ってまいります。今回の特集では、このようなサステナブルな社会へ貢献するリケンテクノスグループの製品についてご紹介しています。

すべてのステークホルダーの 皆様と共に

将来に向け気候変動への対応など様々な課題が山積しており、解決へ向けての取り組みも途上ではありますが、リケンテクノスグループではひとつひとつの課題と真摯に向き合っており、そして、課題解決には、お客様、お取引先様、株主様、従業員、地域の皆様などすべてのステークホルダーの皆様とのパートナーシップが欠かせません。これからもステークホルダーの皆様と信頼を深め、より強固なパートナーシップを築き、サステナブルな社会へ貢献してまいります。私たちは、すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指してまいります。今後ともさらなるご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

リケンテクノス株式会社
代表取締役 社長執行役員

常盤 和明



RIKEN TECHNOLOGIES

プロフィール

常盤和明(ときわ・かずあき)

1983年(昭和58年)千葉工業大学工学部卒、同年理研ビニル工業(現リケンテクノス)入社。
2007年米国リケンエラストマーズコーポレーション社長、2011年コンパウンド事業部副事業部長兼コンパウンド営業部長、2013年6月取締役経営企画室長。2016年4月1日代表取締役社長執行役員に就任。神奈川県出身、60歳。

リケンテクノスグループは、 サステナブルな社会への貢献を目指し、 製品を開発し続けています。

梶山 学之

取締役 常務執行役員
営業本部長



当 社のミッションの最後に『企業と人と社会に新たな価値と喜びを提供し続けます』という言葉がありますが、この新たな価値として最近特に注視されている「環境」に対する取り組みを進めております。

リケンテクノスグループは環境に関する各種課題に対し素材で解決していきます。原材料に遡った環境に優しい素材の選定、リサイクルに適した処方設計等が挙げられます。

具体的な販売製品としては、石油由来の原材料比率を減らしたPVCコンパウンド、リサイクルや低エネルギー加工に優れた合成ゴム代替の熱可塑性エラストマーACTYMER®・LEOSTOMER®シリーズ、バイオマス素材のRIKEBIO®、そして皆様の健康を守るため抗菌・抗ウイルス加工を施したリケガード®等ラインアップしております。

リケンテクノスグループは環境課題解決を通じて、皆様に快適さを提供し社会に貢献してまいります。

感染症 対策

リケンテクノスグループでは、抗菌・抗ウイルス製品のリケガードが昨年から高い評価をいただいています。感染症から人々を守るためにさらなるラインアップの拡充を図ってまいります。また、今後はさらにリケガード®の防虫や抗アレルギーシリーズと、商品の拡充を進めてまいります。

抗ウイルス・抗菌フィルム

リケ+ガード

®

フィルム表面の
特定ウイルスを **99.99%** 減少!

+
抗菌
機能

フィルム表面上の
特定細菌の増殖を **1/100** 以下に抑制 ※一般コーティング品と比較

タッチパネルなどのディスプレイなどにもご利用いただけます



リケガード®はブックカバーにも使われています。



杉野 等

取締役 執行役員
技術本部長
兼 研究開発センター長



本で「カーボンニュートラル」という言葉が広がったのは、2020年10月、菅義偉首相が、「2050年 カーボンニュートラルを目指す」と所信表明演説で宣言してからです。「カーボンニュートラル」は国策となり、産業界も動き出しました。

当社は、プラスチック素材メーカーです。プラスチック材料は、軽くて丈夫、自由に形を変えられ代替するものがなく、世界中で広く使われています。しかし、その大半は石油由来の製品です。このことを踏まえ、当社でもカーボンニュートラルを意識した製品開発を行っており、2019年にはバイオマス材料(植物由来のプラスチック)を使用したRIKEBIO®を上市しました。また、ほぼ石油由来の原料でできている汎用プラスチックを塩ビ樹脂へ代替することも行っております。塩ビ樹脂は、塩が原料の約60%を占めています。石油の使用を減らし、かつリサイクルの検討により持続可能な生産モデルの構築を目指していきます。

また、リサイクル好適材料、省エネルギー素材として、合成ゴム代替の熱可塑性エラストマーの開発を進めています。合成ゴム代替コンパウンド、およびシート化を検討しています。

環境に良い製品であったとしても、選ばれなければ環境負荷を抑えることはできません。多くの人に選ばれるためには、お客様にとって有用で手が届くもの、つまり、プラクティカル(実用的)でなければならないと考えています。素晴らしい性能を持つプラスチック素材を開発し、お客様一人ひとりにとって便利で、環境にもやさしい選択肢を提供するというのが当社の考え方です。

バイオマス コンパウンド

バイオマスコンパウンドの開発を進めており、RIKEBIO®というブランド名にて上市しております。RIKEBIO®コンパウンドの特徴は、幅広い硬さ領域での展開が可能なこと、石油由来コンパウンドと同等の品質・性能を実現できることです。

現在、軟質PVCコンパウンドについては、バイオマス割合40%にてバイオスマーク※を取得しております。



※バイオスマークとは

バイオスマークは生物由来の資源(バイオマス)を利用し、品質および安全性が関連する法規、基準、規格等に適合している環境商品の目印です。一般社団法人日本有機資源協会によって審査され、認定を受けた商品に付与されます。

リサイクル

リサイクルの難しい合成ゴムの代替となる 「熱可塑性エラストマー」を開発しています。

熱 可塑性エラストマーは、プラスチックでありながら常温ではゴムと同じような弾性を持ち、かつプラスチックと同じ成形方法を行って製品化されます。リサイクルの難しい合成ゴムと異なり、**熱可塑性=加熱によって可塑性し「リサイクルを可能とする」**ため、同じ資源を使い続けることができ、省資源対策として有効です。

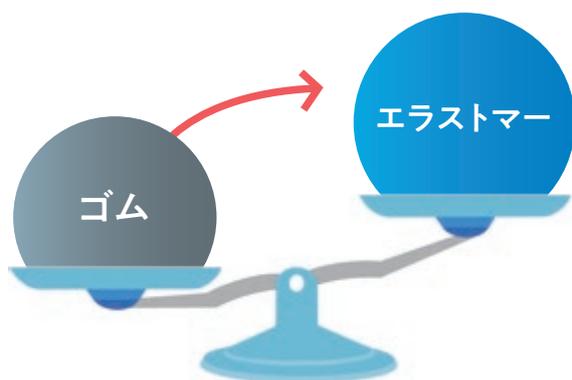
その弾性の特徴から、パッキンの材料として既に

自動車にも多く使われており、**合成ゴムと比べて約20~30%ほど軽い性質**から、**自動車の燃費向上にも貢献**しています。

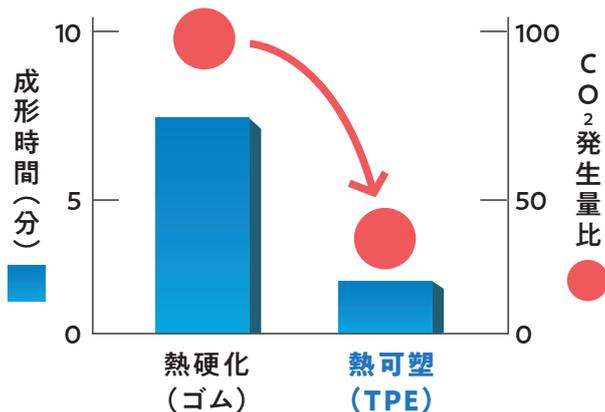
現在この熱可塑性エラストマーのように、環境に少しでもよい代替の素材を開発し、徐々に切り替えていこうという取り組みを推し進めています。

2020年度にはこれらの好適材料の売上比率がアップしました。

ゴムよりも **約20~30%も軽い**



成形時間はゴムの **1/3**



自動車の燃費向上に貢献する軽量化素材としてエラストマー製品が採用されています。

化粧ボトルのキャップにも使用されています。

省資源で長持ち

当 社が創業以来、製造販売している**塩化ビニル（以下：塩ビ）の原料は、約60%が天然の塩に由来**し、ほぼ石油でできているポリエチレンやポリプロピレンなどの樹脂と比較して原料の石油由来の比率が低いのが特徴です。塩は地球に無尽蔵にあるため、塩ビは省資源型の樹脂と言えます。

さらに、塩ビ製品の寿命は著しく長く、10年から数十年にわたる耐久性が求められる用途に多く使われています。リケンテクノスの塩ビ製品は、窓枠や化粧フィルムなどの建材、医療用チューブ、自動車や建物に使われる電線被覆材など、様々な用途に採用されています。

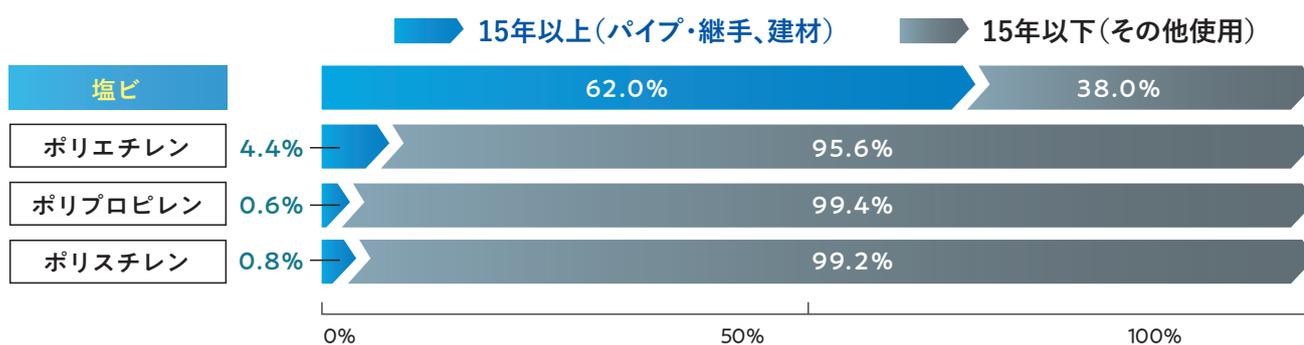


塩ビの原料は
約60%
が塩に由来

長寿命の塩ビ製品

樹 脂製品のなかで、**塩ビ製品の寿命は著しく長い**という特徴があります。窓枠、床材、壁紙など、建材として10年から数十年使われるため、**資源の節約**につながります。塩ビパイプのように50年以上使えるものもあります。

樹脂製品の概ねの使用年数



出典：塩ビ工業・環境協会 パンフレット「Sustainability」を基に作成



耐久性が求められるホースに使用されています。



インフラを支えるパワーケーブルの被覆材に使用されています。



高い断熱性能を持つ樹脂サッシに多く使われています。

リケンテクノスグループ概要

● 会社概要 (2021年3月31日現在)

社名	リケンテクノス株式会社	代表者	代表取締役 社長執行役員 常盤 和明
設立年月日	1951年(昭和26年)3月30日	従業員数	連結 1,894名 個別 737名
資本金	85億14百万円	本社所在地	東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地 ワテラスタワー

● 事業内容

当社グループは、以下の4つの市場別セグメントで事業を行っております。

セグメント名	市場	主要製品
トランスポートーション	自動車、鉄道、船舶市場等	コンパウンド、フィルム
デイリーライフ&ヘルスケア	医療、生活資材、食品包材市場等	コンパウンド、フィルム、食品包材
エレクトロニクス	エネルギー、情報通信、IT機器市場等	コンパウンド、フィルム
ビルディング&コンストラクション	住宅、ビル、建築資材、土木市場等	コンパウンド、フィルム

● 主要製品

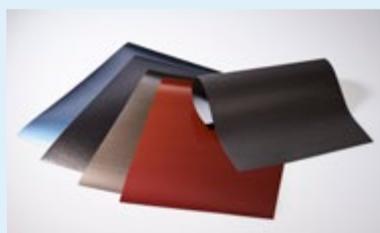
コンパウンド製品

塩化ビニルコンパウンド、熱可塑性エラストマーコンパウンド、導電性コンパウンド、制電性コンパウンド、バイオマスコンパウンドなど



フィルム製品

建築内装用化粧シート、鋼板用フィルム、ポリエステル樹脂系フィルム、IRカットフィルム、ウィンドウ用装飾フィルム、光学用フィルムなど



食品包材製品

塩化ビニルラップ、オレフィン系ラップなど



● 業績

2021年3月期(2020年度)のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から輸出や生産、設備投資などを中心に持ち直しの動きは見られるものの、足元での感染者数再拡大による緊急事態宣言の再発出により個人消費が弱含みに転じるなど、依然として厳しい環境が続いておりました。

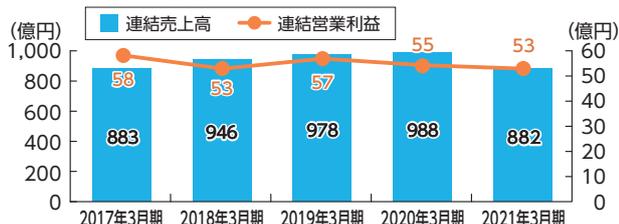
海外では、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況は継続しておりますが、北米は経済対策もあり回復の動きが見られ、中国では景気は緩やかに回復してきました。

市場別では、国内の住宅市場で新設住宅着工件数が減少

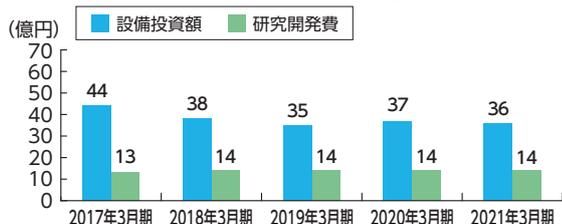
しましたが、自動車市場や家電市場は回復が見られました。

このような環境の中、当社グループはグローバルな視点で市場別に顧客のニーズをきめ細かく確実に捉え、国内および海外の経営資源を効率的に活用して受注につなげることで業績の向上に努めました。その結果、売上高は88,224百万円(前期比10.7%減少)、営業利益は5,313百万円(同4.8%減少)、経常利益は5,652百万円(同0.3%減少)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,234百万円(同5.5%増加)となりました。

● 業績の推移【連結】



● 設備投資額および研究開発費の推移【連結】



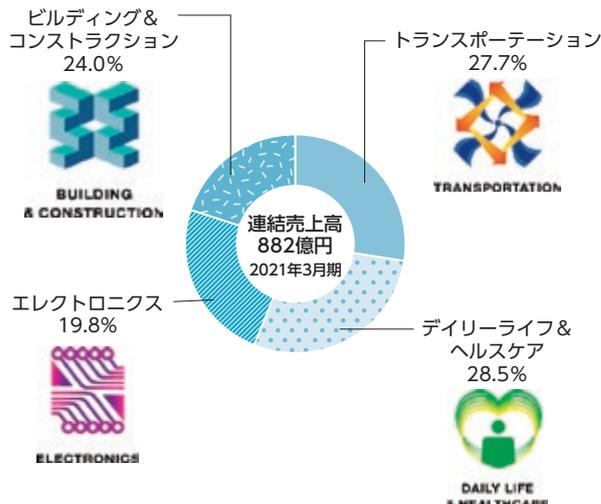
● 2021年3月期 業績

(単位:億円)

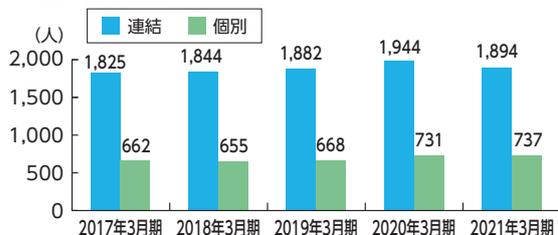
	連結	個別
売上高	882	355
営業利益	53	14
経常利益	56	31
当期純利益※	32	26

※親会社株主に帰属する当期純利益

● セグメント別連結売上高構成比



● 従業員の推移



● 中期経営計画

リケンテクノスグループにおける、3か年中期経営計画「More Value to All 2021 共に生み出せ!さらなる価値を!」の2年目が終了しました。掲げた5つの主要課題の完遂に向けて社員一同邁進いたします。

● 経営方針

More Value to All 2021
共に生み出せ!さらなる価値を!
～すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して～



● 計数目標

	2022年3月期(最終年度)目標
連結売上高	1,150億円
連結営業利益	85億円
連結経常利益	85億円
連結当期純利益	50億円

● 経営目標

	ROS 売上高 営業利益率	ROE 株主資本 純利益率
2022年3月期 (最終年度)目標	7%	8%

● 主要課題に対する2022年3月期までの取り組み

①グローバル経営の深化とシナジー

引き続き拠点間の連携によるグローバル運営を推進しつつ、アジア地域におけるコンパウンド事業戦略の強化を図ります。

②戦略思考による収益力向上

シェアード機能の拡張と子会社のシステム統合を実施し、デザイン子会社との協働を進めていきます。また、コストダウンと顧客向けサービスを目的とした物流改革を実施します。

③効率を極めた生産体制の実現

設備故障の予兆管理システムの導入により生産の効率化を図り、エネルギーコストの削減に向けて工場共有設備の再構築を行います。同時に、グローバルでのもの造り強化を推進します。

④サステナブルな社会への貢献

主要課題それぞれに対応したSDGsテーマを設定し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを強化します。

⑤人材育成とガバナンス重視の経営による企業体質の強化

採用手法の多様化と研修制度体系の再構築により、グローバル人材を強化していきます。また、コンプライアンスの徹底を継続します。

国内・海外ネットワーク

リケンテクノスグループは、リケンテクノスおよび連結子会社19社で構成されています。
 創業以来、積極的に国内外市場を開拓し、リケンテクノスブランドの浸透に努めてきました。
 「マテリアル・ソリューション・サプライヤー」として、
 国内外拠点の連携により、総合的にお客様の課題を解決しています。

国内

●事業所 ●製造会社 ●販売会社
 *ISO9001認証取得 *ISO14001認証取得

2021年10月現在



12 リケンケミカルプロダグツ株式会社*



2 大阪支店**

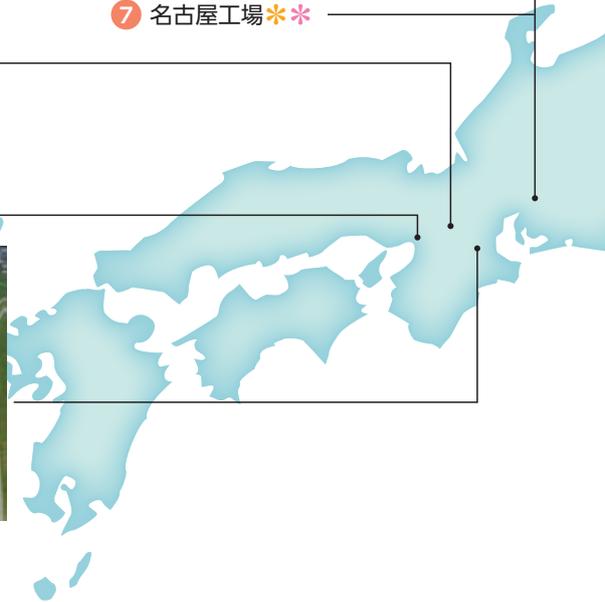


5 三重工場**
 8 研究開発センター(三重)**



3 名古屋営業所**

7 名古屋工場**



リケンテクノス株式会社事業所	主な業務内容	所在地
1 本社	本社機構、営業	東京都千代田区
2 大阪支店	営業	大阪府大阪市
3 名古屋営業所	営業	愛知県名古屋市
4 埼玉工場	コンパウンド・フィルム・食品包装用フィルムの製造	埼玉県深谷市
5 三重工場	コンパウンド・フィルム・食品包装用フィルムの製造	三重県亀山市
6 群馬工場	クリーン環境下での高機能フィルムの製造	群馬県太田市
7 名古屋工場	食品包装用フィルムの製造	愛知県名古屋市
8 研究開発センター	研究開発および国内外拠点の技術的サポート	東京都大田区 埼玉県深谷市 三重県亀山市 群馬県太田市



10 株式会社協栄樹脂製作所*



4 埼玉工場**
8 研究開発センター(埼玉)**



8 研究開発センター(東京)**



6 群馬工場**
8 研究開発センター(群馬)**



9 リケンケーブルテクノロジー株式会社**



1 本社**
11 リケンテクノスインターナショナル株式会社
13 リケンファブロ株式会社**



14 株式会社アイエムアイ

国内連結子会社	主な業務内容	所在地	資本金	出資比率
9 リケンケーブルテクノロジー株式会社	電線の製造・販売	埼玉県入間市	48,000千円	100.00%
10 株式会社協栄樹脂製作所	合成樹脂製品の成形加工および製品の販売	福島県西白河郡	24,000千円	100.00%
11 リケンテクノスインターナショナル株式会社	合成樹脂加工品の仕入・販売	東京都千代田区	10,000千円	100.00%
12 リケンケミカルプロダクツ株式会社	塩化ビニルおよび高機能プラスチック成形材料の製造・販売	滋賀県湖南市	300,000千円	100.00%
13 リケンファブロ株式会社	食品包装用フィルムおよび合成樹脂、アルミニウム、紙等を原料とする日用品雑貨の製造・加工・販売	東京都千代田区	200,000千円	100.00%
14 株式会社アイエムアイ	床材・壁装材卸売、壁装材の企画・デザインサービス、その他建設材料卸売	東京都台東区	30,000千円	89.23%

国内連結子会社は本社所在地のみを表示しています。

国内・海外ネットワーク

海外には13社の連結子会社があり、世界中に高い品質のリケンテクノス製品をお届けしています。

海外

●事業所 ●製造会社 ●販売会社
 *ISO9001認証取得 *ISO14001認証取得

2021年10月現在



22 RIKEN VIETNAM CO., LTD. **

28 RIKEN TECHNOS CORP. EUROPE REPRESENTATIVE OFFICE



16 RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD. **



27 RIKEN TECHNOS INDIA PVT. LTD.



15 RIKEN (THAILAND) CO., LTD. **



17 PT. RIKEN INDONESIA **

海外連結子会社	主な業務内容	所在地	資本金	出資比率
15 RIKEN (THAILAND) CO., LTD.	塩化ビニル成形材料の製造・販売	タイ国パトムタニ県	120,000千タイバーツ	40.00%
16 RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.	高機能プラスチック成形材料の製造・販売	タイ国アユタヤ県	300,000千タイバーツ	100.00%
17 PT. RIKEN INDONESIA	塩化ビニル成形材料の製造・販売	インドネシア国ウエストジャワ州	11,000千米ドル	56.22%
18 上海理研塑料有限公司	塩化ビニル成形材料の製造・販売	中国上海市	7,500千米ドル	70.00%
19 理研食品包装(江蘇)有限公司	食品包装用フィルムの製造・販売	中国江蘇省	13,500千米ドル	92.59%
20 RIMTEC CORPORATION	塩化ビニル成形材料の製造・販売	米国ニュージャージー州	13,415千米ドル	62.94% (62.94%)
21 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION	高機能プラスチック成形材料の製造・販売	米国ケンタッキー州	28,741千米ドル	62.94% (62.94%)
22 RIKEN VIETNAM CO., LTD.	塩化ビニル成形材料の製造・販売	ベトナム国ビンズオン省	20,000千米ドル	100.00%
23 理元(上海)貿易有限公司	機能性フィルム製品の仕入・販売	中国上海市	5,000千人民元	100.00%

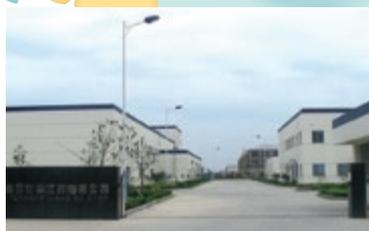
※RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONの資本金は、資本準備金を含んでいます。



24 RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL KOREA CORPORATION



26 RIKEN U.S.A. CORPORATION



19 理研食品包装(江蘇)有限公司*



20 RIMTEC CORPORATION*



18 上海理研塑料有限公司**



23 理元(上海)貿易有限公司



21 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION*



25 RIKEN AMERICAS CORPORATION

海外連結子会社	主な業務内容	所在地	資本金	出資比率
24 RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL KOREA CORPORATION	プラスチック製品の卸売・輸出入	韓国アサン市	18億 韓国ウォン	100.00%
25 RIKEN AMERICAS CORPORATION	高機能プラスチック成形材料および塩化ビニル成形材料の販売	米国ケンタッキー州	30,000千 米ドル	62.94%
26 RIKEN U.S.A. CORPORATION	機能性フィルム製品の仕入・販売	米国ミシガン州	1,000千 米ドル	100.00%
27 RIKEN TECHNOS INDIA PVT. LTD.	プラスチック製品の卸売・輸出入	インド国 ハリヤーナー州	20,000千 インドルピー	100.00% (1.00%)

リケントクノス株式会社事業所	主な業務内容	所在地
28 RIKEN TECHNOS CORP. EUROPE REPRESENTATIVE OFFICE	機能性フィルム製品のマーケティング	ドイツ デュッセルドルフ市

※出資比率の()内の数字は、間接保有割合(内数)であり、当社の連結子会社が保有しています。

製品のご紹介

リケンテクノスグループの製品は、用途に応じて加工され、暮らしの中で活躍しています。

自動車内外装製品

- 各種モール用コンパウンド
および金属調フィルム



- グラスランチャンネル用
コンパウンド



- ワイヤーハーネス用
コンパウンド



- ブーツ用
コンパウンド



- ドアミラーパッキン用
コンパウンド



- 窓枠用コンパウンド



- マッドガード用
コンパウンド

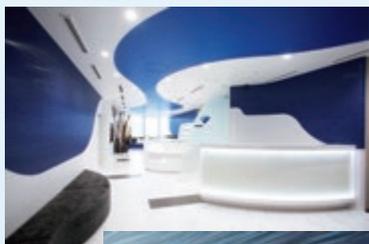


- ウィンドウ用フィルム
RIVEX®(リベックス®)



建材・建装材製品

- 高級壁装用フィルム



- 断熱窓枠用コンパウンド



- 建装材部材用コンパウンド



- キッチンなどの表面化粧用フィルム



- ユニットバス壁面用フィルム



医療・ヘルスケア製品

- シリンジガセット用コンパウンド



- 血液回路用コンパウンド



- 美顔器用コンパウンド



電装材製品

- 電力電線用コンパウンド



- 機器電線用コンパウンド



- フレキシブルフラットケーブル用フィルム



光学材料製品

- 次世代ディスプレイ用フィルムREPTY®(リプティ®)DC100

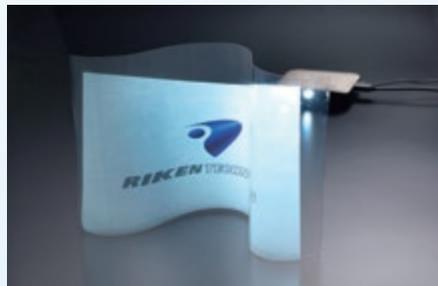


モバイル機器



自動車用ディスプレイ

- プロジェクション用フィルム



デジタルサイネージ

生活資材製品

- ペングリップ用コンパウンド



- カプセルトイ用コンパウンド



- レコード用コンパウンド



- キャップシール用コンパウンド



- 家電ホース用コンパウンド



- 冷蔵庫ガスケット用コンパウンド



食品包材製品

- 小巻ラップ



- 業務用ラップ



- たっぶりクッキングペーパー



- フォーラップ®



- ブルーラップ「オーシャン」



- TSUTSUMU





コーポレート・ガバナンス

● コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

リケンテクノスグループは、企業理念である「リケンテクノス ウェイ」の実践をとおして持続的に成長し、中長期的に企業価値を向上していくために、経営上の組織体制や仕組みを整備し、必要な施策を実施していきます。コーポレート・ガバナンスの強化を経営上の重要な課題のひとつと位置付けることで、リケンテクノスグループ全体で実効的なガバナンスの仕組みを整備し、グループ競争力の強化と経営の透明性、公正性の確保に努めていきます。

● リケンテクノスグループ コーポレート・ガバナンス ポリシー

当社は、コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方に基づき、「リケンテクノスグループ コーポレート・ガバナンス ポリシー」を制定しています。本ポリシーは、リケンテクノスグループのコーポレート・ガバナンスの体制とその取り組みを包括的・網羅的に体系化し公表するものです。

リケンテクノスグループの持続的成長と中長期的な企業価値の向上のため、これからも継続的にコーポレート・ガバナンスの強化・充実に取り組んでいきます。

※リケンテクノスグループ コーポレート・ガバナンス ポリシー

<https://www.rikentechos.co.jp/company/governance/>



◇コーポレート・ガバナンス強化のためのこれまでの取り組み

2016年	執行役員制度を導入(監督と執行の分離) 監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行(取締役会の3分の1以上を独立社外取締役で構成) 指名委員会・報酬委員会を設置(過半数を独立社外取締役で構成、委員長は委員の互選により独立社外取締役の中から選定) 社外取締役会を設置(筆頭独立社外取締役を選任) 株式報酬制度(株式給付信託(BBT))を導入
2017年	取締役会の実効性評価を開始(以降、毎年実施)
2020年	「リケンテクノスグループ コーポレート・ガバナンス ポリシー」を制定 「社外取締役の独立性基準」を策定 「後継者計画(サクセッション・プラン)」を策定
2021年	「取締役の個人別の報酬等の内容についての決定方針」を策定 「リスク・コンプライアンス委員会」を設置

● コーポレート・ガバナンス体制

◇機関設計

当社は、取締役会の監督機能の強化、経営の透明性・公正性の向上を図るため、監査等委員会設置会社形態を採用しています。また、執行役員制度を採用し、業務執行権限の大幅な委譲を推進することで機動的・戦略的な経営体制を構築しています。

◇取締役会

当社の取締役会は、取締役(監査等委員である取締役を除く。)7名以内、監査等委員である取締役5名以内で構成し、かつ、3分の1以上を独立社外取締役で構成することにより経営の透明性・健全性を確保しています。

また、リケンテクノスグループのグローバルな事業運営を背景に、取締役会全体の知識・経験・能力のバランス、多様性の確保、審議の活性化等の点も考慮し、適切な規模・構成となるように選任しています。

◇経営会議

当社の経営会議は、執行役員全員で構成しており、執行役員を兼務しない取締役も経営監督の立場から出席し、必要に応じて意見を述べています。また、毎月取締役会に先立って開催され、取締役会上程事項の事前審議の他、取締役会から権限委譲された重要な業務執行を審議・決定しています。

◇監査等委員会

当社の監査等委員会は、監査等委員である取締役5名以内、その過半数を独立社外取締役で構成し、かつ、財務・会計に関する相当程度の知見を有している者を1名以上選任しています。また、常勤の監査等委員を選定することにより、社内での迅速な情報収集と社外取締役との密な情報共有を行っています。

監査等委員会の直轄の組織である監査室(内部監査部門)と連携し、必要に応じて合同で国内外の監査を実施することにより、内部統制システムを利用した組織的かつ実効的な監査を行っています。

常勤監査等委員メッセージ



リケンテクノス株式会社
取締役
常勤監査等委員
こいずみ まさと
小泉 真人

監査等委員会の職務は、リケンテクノスの健全で持続的な成長を確保し、社会的信頼に応える企業統治(コーポレート・ガバナンス)体制を確立することにあります。

そのコーポレート・ガバナンス体制のあり方も、昨今のSDGsへの企業の取り組みに対する社会的要請や関心の高まりを受け、それに相応しい変化を強く求められていると考えています。

依然、新型コロナウイルス感染症により将来の見通しは不透明ですが、確固たる企業統治体制の整備・運用に一層貢献してまいります。

◇指名委員会・報酬委員会

当社は、指名・報酬に関する適切性を確保し、その透明性を高めるため、取締役会の任意の諮問機関として、指名委員会・報酬委員会を設置しています。両委員会は、取締役3名以上、その過半数を独立社外取締役で構成し、委員長は、委員の互選により、独立社外取締役の中から選定しています。

指名委員会は、取締役、執行役員および相談役・顧問の選任・解任に関する事項、社外取締役の独立性基準の策定・変更に関する事項等について答申・提言を行います。

報酬委員会は、株主総会に上程する取締役の報酬等(株式報酬を含む。)に関する議案の内容、取締役(監査等委員である取締役を除く。)、執行役員および相談役・顧問の報酬制度(株式報酬制度を含む。)および個人別の報酬等(株式報酬を含む。)の内容に関する事項等について答申・提言を行います。

◇独立社外取締役

当社の独立社外取締役は、経営に対する積極的な助言、経営全般の監督、利益相反の監督を行うとともに、ステークホルダーの意見を取締役会に反映させる役割を担っています。

当社は、独立社外取締役として、当社の定める社外取締役の独立性基準を満たし、かつ、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に寄与するために上記役割を担うことのできる者を選任しています。また、独立社外取締役の互選により筆頭独立社外取締役を選定し、社内との連絡・調整に係る体制を整備しています。

半年に1回以上、社外取締役のみで構成される社外取締役会を開催し、社外取締役相互間の情報交換・認識共有を図っています。
※社外取締役の独立性基準については、「リケンテクノスグループコーポレート・ガバナンス ポリシー」の中で定めています。

筆頭独立社外取締役の立場から



リケンテクノス株式会社
社外取締役
監査等委員
あさかわ たかし
早川 貴之

当社は、取締役の3分の1にあたる3名が独立社外取締役(監査等委員)です。また、取締役会の諮問機関である指名委員会・報酬委員会の委員として両委員会の過半数を占め、両委員長も独立社外取締役から選定しております。

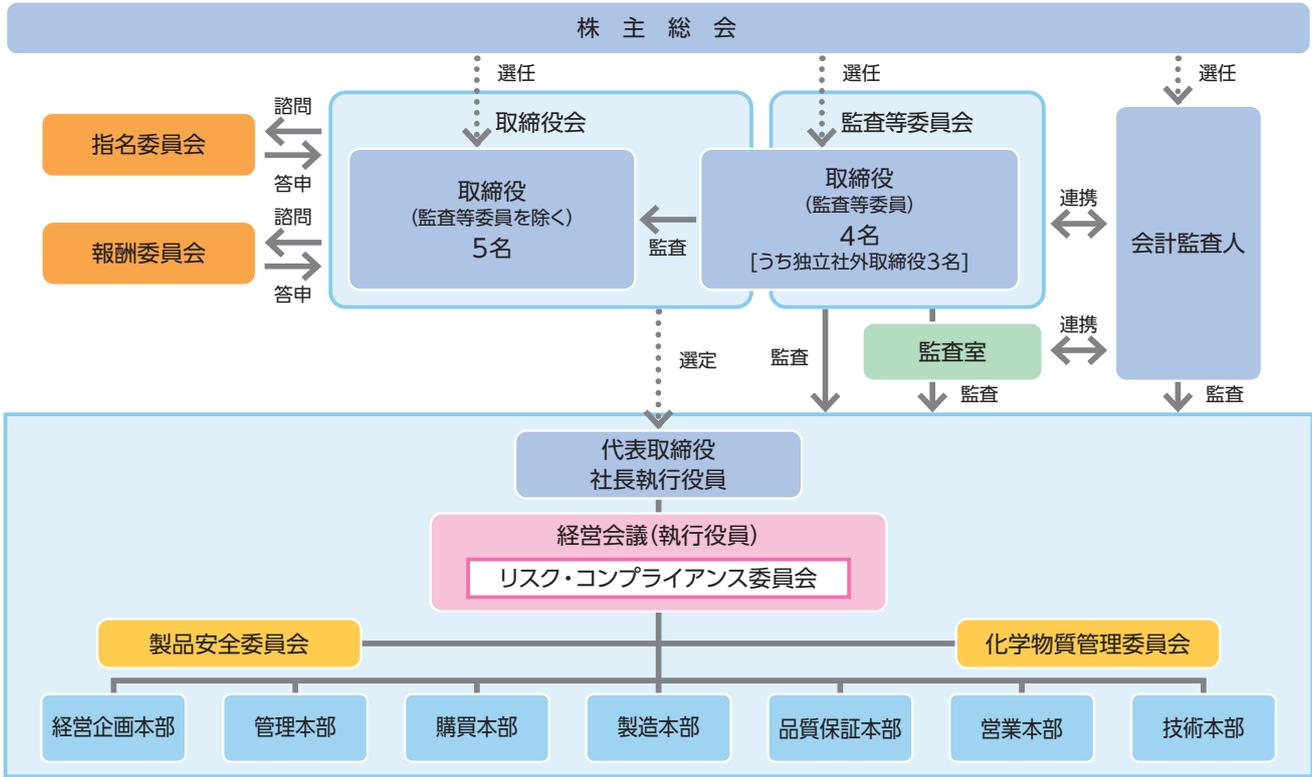
独立社外取締役として、株主様、お取引先様等すべてのステークホルダーの皆様の目線を大切に、経営に対し独立した立場から監査・監督等と助言を的確に行うことにより、経営の意思決定における透明性・公正性等の一層の向上を図ってまいります。

◇コーポレート・ガバナンス体制早見表

機関設計	監査等委員会設置会社
取締役(監査等委員を除く)の人数	5名
取締役(監査等委員)の人数	4名(うち、社外取締役3名)
取締役の任期	1年(監査等委員2年)
取締役会の任意の諮問機関	指名委員会、報酬委員会
執行役員制度の採用	あり
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人



コーポレート・ガバナンス



取締役会の実効性評価

当社では、取締役会の機能向上のため、毎年その実効性の評価・分析を行っています。

◇2020年度取締役会の実効性評価結果

(1)分析・評価の方法

取締役全員(9名)を対象に2020年度の実効性評価に関するアンケート(無記名式)を実施し、その回答内容をもとに、実効性の分析・評価、今後の課題および取組内容について取締役会で議論を行いました。

[2020年度重点評価項目]

①取締役会の構成(社外取締役)・運営状況・議題、②知識・知見向上に関する体制、③リスクマネジメント体制、④株主・投資家との関係、⑤指名委員会・報酬委員会の構成と役割

(2)実効性の分析・評価結果の概要

当社の取締役会は、全体として適切に機能しており、その実効性は十分に確保されていると分析・評価いたしました。特に、以下の点において、実効性が確保されていることを確認いたしました。

- ・グループ全体のリスク管理強化、リスクマネジメントの実効性強化の取り組みを行い、全社的リスクマネジメント体制の整備を進めた。
- ・定期的に役員制度および役員報酬制度の見直しを行っており、持続的な成長に向けた健全なインセンティブとして機能するよう、指名委員会・報酬委員会を活用した客観性・透明性のある手続が確立されている。

(3)実効性をさらに高めるための課題および今後の取組内容

当社の取締役会は、全体として実効性が十分に確保されていることを確認いたしました。以下の点につき、引き続き議論を重ね、さらなる実効性の向上に努めます。

- ・取締役会の多様性について将来的な議論はなされているが、今後は中核人材の登用における多様性の確保について人材戦略や人材育成方針とあわせてさらに議論を進めていく。
- ・連結子会社管理規程の見直しにより、本社と連結子会社の役割・権限は整理されたものの、連結子会社のあり方や親会社の関与の仕方等について引き続き議論を深め、グループの総合力をより高めるための施策を実施していく。
- ・SDGsを含むサステナビリティの取り組みについては、次期中期経営計画の策定とあわせてもう一段踏み込んだ議論を行い、その開示手法も含め検討を進めていく。

政策保有株式

政策保有株式については、グローバルに企業価値を向上させるための中長期的視点に立って、保有目的が適切か、保有に伴う便益やリスクが資本コストに見合っているか等につき、毎年取締役会において具体的に精査し、保有することが当社グループの中長期的企業価値向上に資すると判断するものについては保有を継続しますが、保有することが適切でないと判断するものについては、市場動向等を勘案の上、全部または一部の処分を検討し、保有を縮減する方針です。

● 後継者計画(サクセッション・プラン)

当社では、経営幹部候補群の人材プールを確保するため、後継者計画(サクセッション・プラン)を策定しています。経営理念や経営方針等を踏まえて、後継者候補の育成が十分な時間と資源をかけて計画的に行われていくよう、今後も取締役会および指名委員会がその運用に主体的に関与し、定期的な監督を行っています。

● 役員報酬

◇基本方針

取締役(監査等委員である取締役を除く。)の報酬は、各事業年度の業績の向上および中長期的な企業価値向上を動機づけ、また株主とも価値を共有できる報酬制度とし、役位および職責に応じた適切な報酬水準とします。それらの決定に際しては、客観性および透明性を確保するため、過半数を独立社外取締役で組織する報酬委員会の意見を尊重します。

◇役員報酬の構成

取締役(監査等委員である取締役を除く。)の報酬は、各事業年度の業績の向上および中長期的な企業価値向上に対する職責を負っていることから、役位に応じてあらかじめ定められた固定報酬(基本報酬)、短期業績連動報酬としての賞与(金銭および株式給付)および固定株式給付で構成しています。

監査等委員である取締役の報酬は、業績連動しない固定報酬(基本報酬)および固定株式給付のみで構成しています。

◇役員報酬の決定プロセス

各取締役(監査等委員である取締役を除く。)の報酬額を決定するにあたっては、取締役会が事前にその過半数を独立社外取締役で組織する報酬委員会に諮問した上で、その答申結果を尊重して決定しています。

監査等委員である取締役の報酬は、株主総会の決議により定められた限度額内で監査等委員である取締役の協議により決定しています。

● リスクマネジメント・コンプライアンス

◇リスクマネジメント体制

当社グループは、グループ各社をとりまくリスクを一元的・統括的に管理し、リスクマネジメントの実効性を高めるとともにコンプライアンスのさらなる向上を図ることを目的としてリスク・コンプライアンス委員会を設置しています。

リスク・コンプライアンス委員会では、グループ全体のリスク一覧を策定し、グループとしての重要リスクの把握と重点対策リスクの特定を行い、半期ごとにリスク対応策の進捗を確認しています。また、グループ各社のコンプライアンス施策の実施状況および改善状況の調査・監督を行っています。

◇コンプライアンス推進

グループ各社の役職員を対象にコンプライアンス研修を継続的に実施し、「リケンテクノスグループ企業行動規範」および法令・定款および社会規範等の遵守など、コンプライアンスの実効性向上に努めています。

また、贈収賄防止体制の整備の一環として「リケンテクノスグループ贈収賄防止に関する基本方針」および関連規程を制定し、当社グループ全体での贈収賄の防止に努めています。

◇内部通報ホットライン

法令・定款・規程違反等に関する疑問などを相談する窓口として「内部通報ホットライン」を設置しています。監査室の他に顧問法律事務所による第三者窓口も設置し、相談者が特定されず、いかなる不利益も受けまいよう徹底しています。

◇情報セキュリティ

当社では、アクセス制限・データの暗号化などにより情報漏洩リスクの最小化に努め、最新のプロテクトシステムを導入しています。また、個人情報保護法およびマイナンバー法に基づき、社内規程を制定・運用しています。

◇連結子会社の経営管理

当社は、「リケンテクノスグループ連結子会社管理規程」に基づき、連結子会社の経営状況・財務状況等について必要な報告を受け、連結子会社の経営状況の管理・監督を行っています。また、経営企画本部を連結子会社の経営管理全般の所管部署として、内部統制システムの構築の指導および情報の共有化を徹底しています。

◇業務監査

監査室は、連結子会社各社の内部監査を実施し、取締役会・経営会議および監査等委員会に対し、定期報告と内部統制状況報告を行っています。

コーポレート・ガバナンス

● 経営体制(2021年10月1日現在)

取締役



代表取締役
社長執行役員
常盤 和明

1983年 3月 当社入社
2002年 4月 RIMTEC CORPORATION 営業部長
2007年 1月 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION 取締役社長
2011年10月 当社コンパウンド事業部副事業部長兼コンパウンド営業部長
2013年 4月 当社経営企画室副室長
2013年 6月 当社取締役経営企画室長
2016年 4月 当社代表取締役 社長執行役員(現任)



代表取締役
専務執行役員
管理本部長
入江 淳二

1981年 4月 株式会社富士銀行(現 株式会社みずほ銀行) 入行
2009年 4月 株式会社みずほ銀行執行役員小舟町支店長
2011年 5月 当社入社
2011年 6月 当社法務・コンプライアンス室長
2012年 6月 当社取締役法務・コンプライアンス室長
2013年 4月 当社取締役管理本部長兼総務部長
2016年 4月 当社取締役 常務執行役員管理本部長兼経営企画本部長
2017年 1月 当社取締役 常務執行役員管理本部長兼経営企画本部長兼総務部長
2017年 4月 当社取締役 常務執行役員管理本部長兼総務部長
2017年10月 当社取締役 常務執行役員管理本部長
2019年 4月 当社取締役 専務執行役員管理本部長兼経営企画本部長
2020年 4月 当社取締役 専務執行役員管理本部長
2020年 6月 当社代表取締役 専務執行役員管理本部長(現在)



取締役
常勤監査等委員
小泉 真人

1997年10月 当社入社
2006年 4月 当社法務室長
2008年 6月 当社経営企画室長
2010年 4月 当社経理部長
2012年 9月 当社システム開発部長
2016年 1月 当社業務管理室長
2016年 4月 当社執行役員業務管理室長
2017年 1月 当社執行役員業務管理室長兼システム開発部長
2018年 4月 当社営業本部長
2018年 6月 当社取締役(監査等委員)(現任)



社外取締役
監査等委員
早川 貴之

1972年 4月 株式会社太陽銀行(現 株式会社三井住友銀行) 入行
2006年 4月 株式会社三井住友銀行執行役員東日本第3法人営業本部長
2008年 4月 同行執行役員東京東法人営業本部長(2009年4月退任)
2009年 5月 銀泉株式会社専務執行役員(2010年5月退任)
2010年 6月 株式会社陽栄ホールディング代表取締役社長(2017年6月退任)
兼株式会社陽栄代表取締役社長(2017年6月退任)
2013年 6月 当社社外監査役
2016年 6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任)
2017年 5月 株式会社ティーケーピー社外取締役
2017年 6月 東陽興産株式会社社外取締役(2021年6月退任)
2019年 5月 株式会社ティーケーピー 監査役(現任)
2020年 6月 株式会社共立メンテナンス社外取締役(現任)

執行役員



代表取締役
社長執行役員
常盤 和明



代表取締役
専務執行役員
管理本部長
入江 淳二



取締役
常務執行役員
営業本部長
梶山 学之



取締役
執行役員
経営企画本部長
北出 太三郎



取締役
執行役員
技術本部長
兼 研究開発センター長
杉野 等



取締役
常務執行役員
営業本部長
かじやま かくゆき
梶山 学之

1985年 3月 当社入社
2008年 6月 当社名古屋営業所長
兼コンパウンド車両開発室長
2010年 3月 当社コンパウンド事業部副事業部長
2011年 4月 当社経営企画室部長代理
2011年 9月 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION取締役社長
2016年 4月 当社執行役員
RIKEN ELASTOMERS CORPORATION取締役社長
2017年 4月 当社上席執行役員経営企画本部長
2017年 6月 当社取締役 上席執行役員経営企画本部長
2019年 4月 当社取締役 常務執行役員営業本部長(現任)



取締役
執行役員
経営企画本部長
きたいで たいざぶろう
北出 太三郎

1985年 4月 三菱商事株式会社入社
2009年 4月 三菱商事プラスチック株式会社執行役員汎用樹脂・製品本部長
2013年 5月 三菱商事株式会社塩化ビニール部長
2017年 5月 Lithium Energy and Power GmbH & Co. KG General Manager, Purchasing
株式会社GSユアサ資材調達部リチウム調達グループ・グローバル調達グループ担当部長
2018年 4月 当社入社経営企画本部副本部長
2020年 4月 当社上席執行役員経営企画本部長兼購買本部管掌
2020年 6月 当社取締役 上席執行役員経営企画本部長兼購買本部管掌
2021年 4月 当社取締役 執行役員経営企画本部長(現任)



取締役
執行役員
技術本部長
兼 研究開発センター長
さきの ひろし
杉野 等

1983年 3月 当社入社
2009年 4月 当社材料開発センター第3開発室長
2014年 1月 当社技術本部副本部長兼研究開発センター長兼第1開発室長
2016年 4月 当社執行役員技術本部副本部長兼研究開発センター長兼第3開発室長
2019年 4月 当社執行役員技術本部長兼研究開発センター長
2020年 4月 当社執行役員技術本部長兼製造本部管掌兼研究開発センター長
2020年 6月 当社取締役 執行役員技術本部長兼製造本部管掌兼研究開発センター長
2021年 4月 当社取締役 執行役員技術本部長兼研究開発センター長(現任)



社外取締役
監査等委員
なかむら しげお
中村 重治

1976年 4月 株式会社埼玉銀行(現 株式会社りそな銀行)入行
2005年 6月 株式会社りそな銀行常務執行役員総合資金部担当
2006年 6月 同行取締役兼専務執行役員総合資金部担当兼コーポレートガバナンス室担当
2008年 6月 同行代表取締役副社長兼執行役員人材サービス部担当兼コーポレートガバナンス事務局担当(2012年3月退任)
2012年 4月 りそな総合研究所株式会社代表取締役社長
2013年 6月 トーヨーカネット株式会社社外監査役
2014年 4月 りそな総合研究所株式会社顧問(2014年6月退任)
2014年 6月 株式会社エフテック社外監査役(現任)
当社社外監査役
2015年 6月 トーヨーカネット株式会社社外取締役(監査等委員)(現任)
2016年 6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任)
2018年 6月 株式会社商工組合中央金庫社外取締役(現任)



社外取締役
監査等委員
しばた かずまさ
柴田 一真

1982年 4月 安田火災海上保険株式会社(現 損害保険ジャパン株式会社)入社
2007年 4月 株式会社損害保険ジャパン(現 損害保険ジャパン株式会社)神奈川サービスセンター部長
2010年 4月 同社関東サービスセンター第二業務部長
2012年 4月 同社執行役員東京サービスセンター業務部長
2013年 4月 同社執行役員東京保険金サービス第一部長兼東京保険金サービス第二部長
2013年10月 同社執行役員東京保険金サービス第二部長兼東京保険金サービス第一部特命部長(2014年3月退任)
2014年 4月 独立行政法人国立病院機構監事
2016年 4月 同機構理事(2018年3月退任)
2018年 6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任)



執行役員
品質保証本部長
のざき みちひろ
田坂 道久



執行役員
購買本部長
兼 物流部長
さくらい たかひろ
杉江 剛



執行役員
RIKEN AMERICAS CORPORATION 取締役社長
兼 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION 取締役社長
やまくら ゆみこ
山仲 稔美



執行役員
製造本部長
兼 業務管理部長
おがわ とものり
小川 智三



執行役員
営業本部 副本部長
兼 営業戦略室長
兼 ビルディング&コンストラクション
ビジネスユニットマネージャー
おの たかし
小野塚 尚



執行役員
トランスポーテーション
ビジネスユニットマネージャー
兼 名古屋営業所長
なかむら たかふみ
中村 文俊

お客様とのかかわり

リケンテクノスグループはお客様のご要望に合わせた製品を開発しグローバルにお届けいたします。市場別のセグメント組織のもと、社会の抱える課題をお客様と共に解決いたします。

トランスポーターション セグメント

アジア・北米市場で圧倒的な存在感の確立 自動車分野の機能部品向けにECOな材料を提供



TRANSPORTATION

〈事業概要〉

自動車用電装材（ワイヤーハーネス）、自動車・2輪用成形部材を日本、北米、ASEAN、中国の各工場からティア1と呼ばれる部品会社様を中心に供給しています。電装材料用は塩ビコンパウンドを中心に、自動車・2輪用は塩ビコンパウンドおよびエラストマーコンパウンドの生産と販売をグローバルに展開しています。

〈サステナブルな社会への貢献〉

2020年度はコロナ禍そして半導体不足が影響した年でありました。一方で2021年度後半からは市場も回復し拡大することが予測されております。そのような環境の中、自動車部品メーカーは水素社会やカーボンニュートラルを進めていくという方向性を示し始めています。自動車・2輪分野の素材は、ますますカーボンニュートラルやサステナビリティを追求することが求められることになるでしょう。リケンテクノスグループが扱う塩ビコンパウンドの原材料となる塩ビ樹脂の約60%は天然物（塩）で構成され、炭素や塩素を安定した状態で固定できる優れた素材です。またエラストマーコンパウンドは加硫ゴムに比べて炭酸ガスの発生量削減や軽量化が可能なることから、ゴム代替の用途が今後も広がると期待できる素材です。自動車用電装材（ワイヤーハーネス）では日系ワイヤーハーネスメーカー様向け塩ビコンパウンドの圧倒的なシェアを誇っており、さらにシェアを拡大することを目指します。自動車用成形部材ではシール部材や各種機能部品向けにエラストマーコンパウンドでゴム代替を促進を図ります。また、今後は天然由来のバイオマス素材の製品が求められることも多くなると予測されます。リケンテクノスグループの配合加工技術で、いかにバイオマス度を上げた製品で性能を発現させるかも重要なポイントと考えています。従来の塩ビコンパウンドやエラストマーコンパウンドに加え、環境を考慮した製品の拡販を通じ、サステナブルな社会への貢献を目指します。



ワイヤーハーネス



二輪のコントロールケーブル



ステアリングブーツ

デイリーライフ&ヘルスケア セグメント

生活に寄り添う高付加価値製品の拡充 および新分野へ挑戦



DAILY LIFE
& HEALTHCARE

〈事業概要〉

医療・生活資材市場・食品包材市場を中心にコンパウンド・フィルム・ラップ等を提供しています。医療市場については日本・ASEAN諸国を中心に塩ビコンパウンドを供給し、食品包材市場は食品ラップを中国・日本より供給しております。昨年からの発生している新型コロナウイルス感染症に対してコンパウンド・フィルム双方で抗ウイルス製品を上市し、感染予防対策に貢献していきます。

〈サステナブルな社会への貢献〉

世界的に広がる脱プラスチック・CO₂削減の動きは様々な市場に影響を与えています。近年の動向では、容器包装リサイクル法・プラスチック資源循環促進法等の成立により、使い捨て容器・包装プラスチック製品の削減が進むものと予測されます。

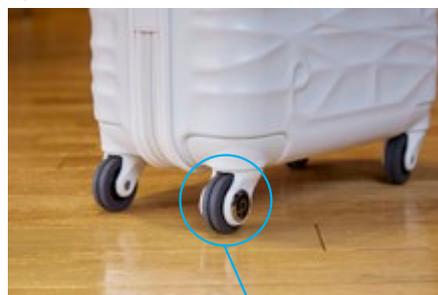
そのような環境の中、サステナブルな素材を提供していくことを重要な課題と捉えております。リケンテクノスグループの主力製品である塩ビコンパウンドは、100%石油から作る他の多くのプラスチックと異なり、天然の塩に由来し、石油資源の節約に貢献しております。塩ビコンパウンドは医療用チューブ用に長年採用されている安心安全な素材です。また、医療・生活資材市場ではゴム製品が多用されていますが、これらをエラストマーコンパウンドに代替することで製造工程における炭酸ガスの削減を進めます。

そして、昨年より世界的に感染症が蔓延する中、感染症対策製品であるリケガード®のラインアップをさらに拡充し、皆様の健康を守る手助けとなるよう努めます。また、食品包材市場では、密着力の高い食品包装用ラップで食材を保管することで、フードロスの削減につなげています。薄くて破れにくい丈夫な食品包装用ラップはごみの削減にも貢献しています。



抗ウイルス・抗菌製品

リケ+ガード®



リケガード®製品



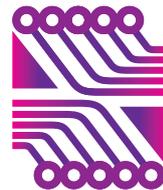
食品包装用ラップ



医療用チューブ

エレクトロニクス セグメント

電線分野での快適な暮らしを支えるインフラへの貢献
光学分野での未来を創造するオンリーワン製品の開発



ELECTRONICS

〈事業概要〉

電線分野ではエネルギーおよび通信インフラ用コンパウンドの販売により、エネルギーや情報を安心、安全に供給し続けることに貢献しています。

光学分野では今まで培ってきた様々な光学技術の複合化で、モバイルおよび各種産業用ディスプレイ業界が目標とする市場トレンド創出の実現のために、常に顧客期待の上をいく先端技術とオンリーワン製品を提供しております。

〈サステナブルな社会への貢献〉

電線分野ではエネルギー市場において、ソーラーケーブルおよびEV自動車用充電ケーブルの被覆材として、難燃エラストマーコンパウンドが採用されています。引き続き資源効率の改善や省エネルギー分野への貢献を進めていきます。IoTを活用したロボット分野では、ケーブル被覆材の拡販を通じて生産性の向上や自動化による労働環境の改善に貢献しています。

光学分野では、車内や建物の省エネのための熱線およびUVカットフィルム、飛散防止機能をもつ高硬度ガラス代替フィルムを国内外マーケットへ販売しています。昨年には抗ウイルス機能を加えた光学の複合化技術でSIAA(抗菌製品技術協議会)が認定した世界初の高硬度・高透明リケガード®グレードが誕生し、新型コロナウイルス感染症から消費者の安全を支えてきました。今後も光学技術の深化・進化・複合化を通じ、持続可能な社会の実現に向けた先頭素材メーカーとしてのミッションを果たします。



抗ウイルス・抗菌製品

リケ+ガード



リケガード®を貼った京王電鉄の券売機パネル



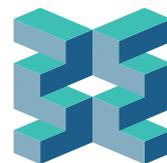
半導体用ケースなど



EV自動車用ケーブル

ビルディング&コンストラクション セグメント

建装・建材分野にて機能的で環境に優しく 美しい空間部材の提供



BUILDING
& CONSTRUCTION

〈事業概要〉

建築・建材分野において、コンパウンドでは、樹脂サッシ、腰壁、幅木などの内装部材、フィルムではキッチン・家具やユニットバスの壁面などの表面化粧材、商業施設向けの高級壁装材など、多岐にわたる用途に使用されています。また、コンパウンドおよびフィルム製品を日本だけでなく、北米、欧州、ASEAN、中国などグローバルに販売しています。



〈サステナブルな社会への貢献〉

2020年は建築・建材分野においても新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本国内での新築、改装が進まず商業施設向けの部材、特に高級壁装材の売上に大きな影響を受けました。一方で2021年度後半からはワクチン接種も進み、商業施設への人の流動も戻り、市場が回復することが予測されています。そのような中で、さらに安心・安全な商品が求められていくことになるでしょう。抗ウイルス製品リケガード®を高級壁装材として昨年上市し、さらに手摺向け等で拡販していきます。

建築・建材分野では、環境に配慮した製品が常に求められています。高級壁装材は、本物と見分けのつかないほどの美しい木目が印刷された化粧フィルムのため、森林伐採の抑制に貢献しています。また、高い断熱効果を狙った樹脂サッシ用に硬質塩ビコンパウンドが採用されています。樹脂サッシは、冷暖房の使用を抑え、省電力に貢献しています。これらの原材料となる塩ビ樹脂は、炭素や塩素を安定した状態で固定できる素材でもあります。そして、リケンテクノスグループの配合加工技術で、さらにバイオマス度を上げる開発も行っています。高い性能と美しい外観、加工性の良さを商品に追求し、安心して快適に過ごせる空間づくりのお手伝いをいたします。



樹脂サッシ

抗ウイルス・抗菌製品

リケ+ガード®



リケガード®フィルムを使用したトイレブースパネル

お取引先様とのかかわり

購買本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社
執行役員
購買本部長
兼 物流部長
杉江 剛

購買本部は、購買・物流に係わるお取引先様から日々様々なご提案とご協力をいただきながら、相互信頼に基づいたパートナーシップを築きあげ、中長期的なお取引ができるように努めています。

また「サステナブルな社会への貢献」につきましては、環境の変化に的確に対応し、持続的な社会の実現に貢献していきます。具体的には、「持続可能なグリーン調達の推進」、「物流におけるCO₂/エネルギー消費の低減」等に取り組んでいきます。

サプライチェーン全体における取り組みや公平な事業活動をお取引先様とこれからも協働して推進してまいります。

リケンテクノスグループでは、グローバル購買方針、およびグリーン調達基準など各種コミュニケーション・ツールを使いサプライチェーン構築を推進しています。また、継続的なコストダウンのために購入窓口を広げ、競争力のある原料調達に努めています。

● リケンテクノスの購買方針について

① 公正な購買取引と選定

対等な立場で取引を行います。複数購買を原則とし、公正公平な参入機会を提供します。

国内外を問わず、グローバルな視点からの全体最適と局所最適を行います。

② パートナーシップの構築

お取引先様と良きパートナーとしての継続的な相互信頼関係を構築し、共存共栄を図ります。

③ 関連法令の遵守と自主管理

お取引先様との機密情報に留意し、社会的規範や各国の関連法令を重視し購入を行います。

④ お取引の基準

購入にあたってはお取引様の経営状況を鑑み、QCD+S*の視点から総合的に判断します。

⑤ グローバル購買体制

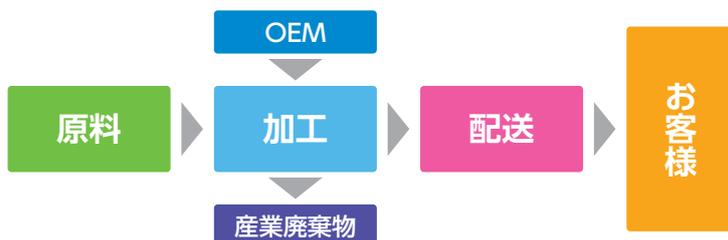
リケンテクノスグループの購買業務は、購買本部資材部を中心に国内各事業所、海外拠点の購入部門が行っています。

*Quality, Cost, Delivery + Sustainability

● サプライチェーンマネジメント

お客様により安全で信頼性のある製品をお届けするため、お取引先様各社の協力を得て、サプライチェーンを含めたより良い環境システム、品質システムの構築に努めています。2020年度は、協力運送会社6社で環境を含めた品質監査を実施し、改善にご協力いただきました。

● サプライチェーン



● リケンテクノスグループ グリーン調達基準

環境に配慮した製品を提供していくためには、環境負荷のより少ない原材料や副資材を調達することが不可欠です。当社は2004年度に環境関連物質に関する「グリーン調達基準」を策定し、Webサイト上に公開しました。さらに、2009年8月、関係会社もこの基準の範囲に加え「リケンテクノスグループ グリーン調達基準」とし、2015年の改定に至っています。

※詳細は当社Webサイトをご覧ください。

適用範囲

リケンテクノスグループ各関係会社の製品を構成する原材料、副資材等。

お願い事項

- お取引先様における環境管理システムの構築
- 環境関連物質の管理等に関する環境パフォーマンスの達成
- 生産工程・使用原料等の変更、納入後に発見された製品異常の報告
- 当社が指定した環境関連物質に関する調査および報告
[RoHS2*1 10物質の測定データ]、化学物質審査規制法、労働安全衛生法、REACH*2等法令該当化学物質含有情報の提供

*1 P.47の注釈を参照ください。

*2 P.53の注釈を参照ください。

運用

原材料・副資材は、法令該当化学物質等の含有禁止物質が含まれていない、あるいは管理すべき物質の含有量が

把握されているものを調達していきます。また、当社評価結果により、お取引先様に対しより安全で環境負荷の少ない原材料・副資材への改善をお願いする場合があります。

リケンテクノスグリーン購入基準

文具・OA機器等の事務用品については「グリーン購入基準」を策定し、可能な限りエコ商品の購入を促進しています。

● 適用範囲

当社の本社・支店・営業所・工場・研究開発センターで購入または借り受ける紙類等の文具、コピー機・パソコン等のOA機器や自動車等。

● 要求事項

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に準じた環境負荷が少ない、有害物質を含有しない等の基準を満たすこと。

● 運用

お取引先様には、積極的にエコ商品を紹介いただけるようお願いしています。

● 物流における環境への取り組み

- 省エネ法による特定荷主としての義務を果たしていきます。
- 製品納入の帰りの車による実車率の向上を目指します。
- お客様からのパレットの回収による新規購入枚数の削減、森林資源保護のためプラスチック製パレットへの変更を推進しています。

品質安全活動

- 協力運送会社によるISO9001、ISO14001の認証取得、Gマーク(安全性優良事業所)の認定取得を推奨しています。

亀山急送株式会社

Gマーク登録証

登録日:2017年12月14日 有効期限:2024年12月31日

ISO9001 登録証

登録日:2003年5月9日 有効期限:2024年5月8日

株式会社モテギ

Gマーク登録証

登録日:2004年1月1日 有効期限:2023年12月31日

ISO9001 登録証

登録日:2000年3月10日 有効期限:2022年4月1日

ISO14001 登録証

登録日:2004年10月29日 有効期限:2022年4月1日

● 国内輸送量とCO₂発生量

輸送	2018年度結果	2019年度結果	2020年度結果
輸送量(t・km)	28,485,895	24,682,013	20,252,279
CO ₂ 発生量(t-CO ₂)	4,944	4,284	3,515

地域の皆様とのかかわり

リケンテクノスグループでは、地域社会との共生のために様々な取り組みを行い、事業活動へのご理解をいただいております。国内と海外での取り組みについてその一部をご紹介します。

● 国内での取り組み

環境への取り組み

埼玉工場



埼玉県が実施している「ゼロカーボン埼玉」へクレジットを提供し、埼玉県知事から感謝状をいただきました。ゼロカーボンとは、脱炭素社会を目指した取り組みの一つで、事業者の二酸化炭素排出削減分をクレジットとして提供し、その分を東京オリンピックの二酸化炭素排出量と相殺する取り組みのことです。

リケンケミカルプロダクツ株式会社



リケンケミカルプロダクツ本社・滋賀工場が入居している湖南工業団地協会主催の環境美化運動に協賛しています。町内を流れる川の清掃活動(年2回ですが、今年は1回)、工場周辺道路清掃活動(年1回)、町内、工業団地の排水・廃液関連施設などの定期点検も実施しています(年1回)。

2020年4月～

4月

5月

6月

7月

8月

9月

社用車の低燃費車使用によりCO₂削減に貢献

大阪支店



名古屋営業所



フードバンクへの物品寄付

大阪支店



特定非営利活動「余剰食品の有効利用と福祉団体支援に係る事業」に対する物品寄贈として、防災備蓄品を寄付しました。





インターンシップ

未来を担う高校生のために職場体験・インターンシップを積極的に実施しています。三重工場にて製造、設備保全、製品開発の体験をしていただきました。

三重工場

亀山高校から2名、5日間の職場を体験頂きました。



エンジニアリング部にて：ベアリングの取付作業体験



研究開発センターにて：立派な消しゴムの完成です。

2021年

10月

11月

12月

1月

2月

3月



感染症対策商品「リケガード®」の寄付



感染症対策商品「リケガード®」を使用したフェイスシールドを病院に寄付し、経済産業省から感謝状をいただきました。



2020年7月豪雨災害に対する支援



2020年7月に発生した豪雨災害により被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。犠牲になられた方々およびご遺族の皆様に対し深くお悔やみを申し上げます。

リケンテクノス株式会社は、被災者の皆様の救援や被災地の復興のため100万円を義援金として熊本県球磨郡球磨村へ寄付いたしました。また、被災地域のご要望に沿って、被災者の生活のお役に立てるよう弊社の製造している食品用ラップ「リケンラップ たっぷり100m」1,500本をお送りしました。

● 海外での取り組み

海外での取り組みとして、米国のRIKEN ELASTOMERS CORPORATION、RIKEN U.S.A. CORPORATION、タイ国のRIKEN (THAILAND) CO., LTD.、RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.、そしてインドネシア国のPT. RIKEN INDONESIAの取り組みをご紹介します。

役員メッセージ



リケンテクノス株式会社 執行役員
RIKEN AMERICAS CORPORATION 取締役社長 兼
RIKEN ELASTOMERS CORPORATION 取締役社長
やまなか としきみ
山仲 稔美

世界で最も新型コロナウイルス感染症の感染者が出ってしまったアメリカは、多くの犠牲を出しながらも急ピッチで経済活動を再開し始めています。一方、いわゆるアフターコロナの世界は、経済、人種、ジェンダー、地域、宗教など多くの分野で分断が明らかになり社会問題化しております。RIKEN AMERICAS CORPORATIONは、社会的な公平を保ち、リケンテクノスウェイの精神を浸透させ、従業員と家族が私たちと共に働けることを誇りに思える企業を目指しております。また、社会貢献活動として、志に賛同した外部団体と共に多くの子供たちへのサポートを継続的に実施しております。純粋な子供たちの眼に輝く、希望に満ちた灯は必ず世の中を良い方向へ導いていくと信じています。

● RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONの取り組み

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONでは、社員が様々な活動を通じて、地域社会に貢献しています。

地域社会に必要とされる教育サポートを实践

すべての人々に公平かつ質の高い教育を受けるチャンスを与えることも、SDGsが掲げる大切な目標の一つです。キャリアフェアへの参加、学生教育プログラムへの協力、特別プロジェクトへの資金援助などを通じて、ペンブローック小学校やホプキンスビル高校、クリスチャン高校を支援しています。また、引き続きUnited WayやBoys and Girls Clubへの寄付を継続しています。集まった資金は様々な活動に役立てられ、子供たちの教育支援や地域の社会福祉などに貢献しています。さらに社内の安全ミーティングで、年に一度サステナブルなトピックスに特化して話し合うなど、従業員教育にも励んでいます。



持続可能な開発のために豊かな自然を守る

山や森林などの陸の生態系を守って砂漠化を防ぐことは、気候変動への影響を抑えながら持続可能な開発を行っていくための大きな課題です。ケンタッキー州ホプキンスビルのEDC（経済開発審議会）と話し合い、樹木・時間・労力の寄付に適した場所を決めて植樹活動を行っています。また、社内緑化の一環として敷地内にも桜を植樹しています。



代表メッセージ



RIKEN (THAILAND) CO., LTD. 取締役社長
田村 昭裕

RIKEN (THAILAND) CO., LTD. では、毎年、社員の子供たちの学習推進の支援のため、1名につき5,000バーツの奨学金を授与しております。2020年度は15名に授与しました。また、地域貢献の一環として、地域の教育サポートプログラムを通じて小学校などへの寄付や、地元市役所と協力して障がい者支援施設支援として、RIKEN (THAILAND) CO., LTD. 内での物品販売などの活動をサポートしております。環境面では環境配慮型製品の開発や工業排水の浄化など地域住民、社会と共存すべく社員一丸となって、地域社会に貢献していきます。

RIKEN (THAILAND) CO., LTD. の取り組み

RIKEN (THAILAND) CO., LTD. では、社員の子供たちの学習推進の支援のため、奨学金制度を設けています。



RIKEN (THAILAND) CO., LTD. の2020年度奨学金を受けた皆さん

奨学金を受けた子供たち



<p>テープタット プーシーリット くん (Master Tepthat Poosirit) 小学 2年生</p>  <p>一般用製造員 ジラサック プーシーリットさん (Mr. Jirasak Poosirit) のお子さん</p>	<p>ナリンニパー ソムブン さん (Miss Narin-nipha Sombun) 小学 3年生</p>  <p>医療用製造員 タウィーサク ソムブンさん (Mr. Taweesak Sombun) のお子さん</p>	<p>パーヌボン ウオングノイ くん (Master Panuphong Wongnoi) 小学 3年生</p>  <p>一般用製造員 ウィーラ ウオングノイさん (Mr. Weera Wongnoi) のお子さん</p>			
<p>プーリタット ピムカン くん (Master Poorithat Pimkan) 小学 4年生</p>  <p>Eng 係員 ジラーユット ピムカンさん (Mr. Jirayut Pimkan) のお子さん</p>	<p>スィリポップ プーウィパーク くん (Master Siraphob Poowiphak) 小学 4年生</p>  <p>医療用製造員 ウィルット プーウィパークさん (Mr. Wirut Poowiphak) のお子さん</p>	<p>タモンワン ブンチャート さん (Miss Thamonwan Bunchart) 小学 4年生</p>  <p>一般用製造員 プラソング ブンチャートさん (Mr. Prasong Bunchart) のお子さん</p>	<p>ワリント プラチャーノク さん (Miss Warintorn Prachanok) 小学 6年生</p>  <p>QA 係員 ウティット プラチャーノクさん (Mr. Uthit Prachanok) のお子さん</p>	<p>シンナウト ナカソーン くん (Master Shinnawut Nakasorn) 小学 6年生</p>  <p>医療用製造員 グナイ ナカソーンさん (Mr. Danai Nakasorn) のお子さん</p>	<p>コーンワリン ヌアムトング さん (Miss Kornwarin Nuamthong) 中学 3年生</p>  <p>物流係員 スマート ヌアムトングさん (Mr. Suchart Nuamthong) のお子さん</p>
<p>ナタノン プントー くん (Master Nattanon Phungto) 中学 3年生</p>  <p>一般用製造員 マーノチ プントーさん (Mr. Manoch Phungto) のお子さん</p>	<p>ナットニチャー プーミコンサーン さん (Miss Natcha Poomikonsarn) 中学 3年生</p>  <p>医療用製造員 アーティット ポーミコンサーンさん (Mr. Arthit Poomikonsarn) のお子さん</p>	<p>ナットチャー バンノイ さん (Miss Natcha Bangnoi) 高校 1年生</p>  <p>総務係員 カムポン バンノイさん (Mr. Kampon Bangnoi) のお子さん</p>	<p>サヤーモン カムディー さん (Miss Sayamol Khamdee) 高校 2年生</p>  <p>医療用製造員 タナウト カムディーさん (Mr. Thanawut Kamdee) のお子さん</p>	<p>ナツタチャー ウオングジャランターウオン さん (Miss Natchaya Wongjaruentaworn) 高校 3年生</p>  <p>総務係員 スナタンター ジャイジャランさん (Mr. Sunantha Jaijaruen) のお子さん</p>	<p>リンラダー サングマニー さん (Miss Rinlada Sangmanee) 高校 3年生</p>  <p>勤務係員 ユターマースクワンタワオンさん (Ms. Jutamas Kwanthaworn) のお子さん</p>

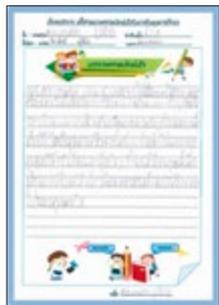
地域の皆様とのかかわり



奨学金を授与した子供たちからお礼の手紙をもらいましたので、ご紹介いたします。(現地社員による日本語訳)

テープタット プースイーリットさん

小学2年のテープタットです。今回の奨学金をいただき、うれしいです。文房具の購入・勉強のために使います。余るお金を銀行に預けて、将来の勉強のために使います。子供の将来・子供の教育のためにこの奨学金を下さいましたリケン社様、経営者の方に感謝します。(小学2年生)



スィリポップ プーウィパークさん

私は5,000バーツのお金をいただきとても嬉しいと思います。金額がとても高いです。表彰している時、とてもドキドキしました。大人が大勢いて、お兄さん、お姉さんたちも何人もいました。奨学金の一部は家族にあげて、また塾代を払って余るお金は将来の勉強のために使います。塾ですが先生のお家で夕方に勉強します。とてもいいです。席も自由に座れます。残るお金は将来の勉強のために使います。リケンタイランド社様に感謝します。このとても嬉しいです。奨学金を受けるのは今回が初めてです。ありがとうございます。(小学4年生)



ナタノン プントーさん

お父さんが働いている会社より奨学金をまたもう一回頂いて嬉しいです。今回は3回目になると記憶しました。いただいたお金はお父さんが私の銀行口座に預金してくれます。子供の時からの預金口座です、私の貯金だとお父さんが言いました。この奨学金は授業料、学生服、文房具の購入だけに使います。一番役に立つように使います。ありがとうございます。(中学3年生)



● RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.の取り組み

健康増進と医療環境の整備

ハイテク工業団地(ロジャナの隣)のCSR活動として実施しているマラソン大会『心を含めて走る』に参加しました。(大会参加費として1名当たり400バーツを寄付)。

集まった参加費(約35万バーツ)は公立病院の機器購入資金として寄付されました。RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.からは5kmの部に男女合わせて約20名が参加し、全員完走しメダルを受け取りました。



● RIKEN U.S.A. CORPORATIONの取り組み

生涯教育プログラムに参加

RIKEN U.S.A. CORPORATIONは、CEU(Continuous Education Unit)に参加しています。CEUとは、専門分野の基本事項、市場状況、技術の発展など、常に新しい情報を吸収する目的の生涯教育プログラムです。各業界のプロフェッショナル協会会員制度では、定期的なポイント獲得が義務付けられています。RIKEN U.S.A. CORPORATION は、1、2か月に一度のペースで建材用フィルム加工についてのCEUオンラインセミナーを2020年6月から開催しています。



代表メッセージ



リケンテクノス株式会社
理事
PT. RIKEN INDONESIA 取締役社長
こばやし かずひこ
小林 和彦

これまでほぼ定期的にも実施してきた、マングローブ植樹等、海辺の環境保全活動は新型コロナウイルス感染症の影響もあって活動が制限されてしまいました。PT. RIKEN INDONESIA社の位置するMM2100工業団地はジャカルタから約25km、周辺には多くの住民の生活の場があります。

コロナ禍における地域住民の生活レベル改善への支援として、当社は今年近隣5つの村に対して米、麺等の生活必需品を提供しました。また村の道路の補修、公共施設の整備等への支援も実施しております。また新型コロナウイルス感染症による影響は継続しておりますが、地域社会とのかかわりを意識して、社会への貢献を行ってまいります。

● PT. RIKEN INDONESIAの取り組み

工場周辺の5つの村に必需品を提供

2020年5月に、工場周辺の5つの村に「米・麺など」の生活必需品を提供し、10月には、村の道路の修理、村の公共施設の整備などを行いました。



● 次世代の応援

リケンテクノスは、次世代を応援するため、「夢らぼ」という番組を2015年4月より制作しています。番組で紹介する学生たちは、皆エネルギーに満ち溢れ、高い志を持っています。彼らを突き動かすものは、何なのか？夢を抱くに至ったそのルーツとは何なのか？そこに迫っていきます。

彼らの夢は、まだ道半ばです。試行錯誤を繰り返しながら何とか進んでいく様は、まさに「夢の実験室」。

どんな未来を切り開いていくのか、彼らの活動から目が離せません。リケンテクノスは科学の力のチャレンジメーカーとして、これからも頑張る学生を応援します。



くぼ しゅんき
久保 駿貴 さん

① 夢らぼに出演しての感想

出演させていただいた際は、今の事業がちょうど思いついた原案の時期だったと思います。当時は別の事業のことを夢らぼでお話させていただきましたが「周りの困りごとをサービスで解決する」という考え方が今の事業にも繋がりました。学生の活動をこのような形で取り上げていただけるのは、発信力や広報の力があまりない学生にとっては大変有難い場所となり、友人や親戚、大学の方にも喜んでいただきました。改めて、貴重な機会をいただけた関係者の皆様には感謝申し上げます。



② 今の活動、今後の活動



昨年10月に株式会社ABABAを創業し、「最終面接まで進んだ学生を企業間で推薦し、採用もできるプラットフォーム」ABABAを運営しています。採用活動で落選者に対して送る不採用通知(お祈りメール)を推薦に変えるというサービスです。これまで就活生は選考を頑張っても落ちてしまえばおしまい、就職活動の過程を評価されることはありませんでした。これが原因の一つとなり自ら命を絶ってしまう方や7人に1人が就活鬱になってしまっています。

企業は受けてくれた方も向き合っているという企業ブランディングと、親和性の高い企業の最終面接まで進んだ学生をスカウトすることができます。リリース8ヶ月で約160社の企業に導入いただきました。今後はABABAの拡大に努めるとともに、企業、就活生双方にとって効率のよい採用と就活の新たなシステムを作りたいです。



お二人の活動についてはこちらから

www.yume-lab.jp

たいら もも
大良 萌々 さん

① 夢らぼに出演しての感想

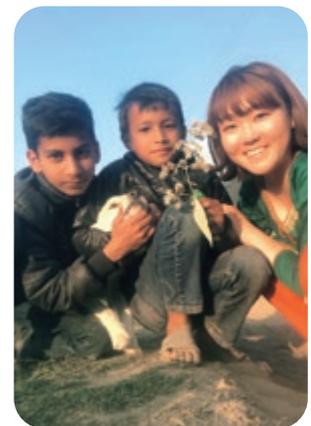
夢らぼでは「すべての子どもたちが夢を追い、輝ける世界を創る」という自分の夢の実現に向けた、ネパールでの教育支援活動についてお話しさせていただきました。夢らぼに出演したことで、多くの方からの応援やネパールへの興味をいただけたことはもちろん、自分の夢や活動を大きく発信する機会をいただくことができました。このような貴重な機会をくださり、本当にありがとうございました！



② 今の活動、今後の活動



現在は新社会人生活1年目を日本の最北端の島、利尻島で送っております。利尻島とは美しい利尻富士が中央にそびえ立つ円形の島で、夏季にはウニ漁やコンブ漁で港が賑わいます。毎朝、ウニ漁の出航を知らせる放送で目を覚まし、心地よい潮風の中、利尻富士を眺めながら自転車通勤する日々を送っています。現在の仕事は自分の暮らす利尻町の定住移住支援に関わるもので、相談窓口や交流スペースづくりなど、多岐にわたります。私はこの仕事を通して、地域のコミュニティデザインや定住移住者の推進、離島での雇用創出等に関する知識や経験を積みたいと思っています。そして、その知識や経験をもって、次のステージでは自分の夢をネパールの村で実現させ、そこから他地域、そして世界へと活動を広げ、より多くの子どもたちが自分のやりたいことや夢に出会う場所や機会を持つ世界を創り出していきます。





今までに出演された学生の皆さん

 <p>#131: 岡田 美優 早稲田大学 スポーツ科学研究科 1年生</p>	 <p>#132: 長瀬 真承 広尾学園高等学校 3年生</p>	 <p>#133: 柴田 源 早稲田大学 先進理工学部 3年生</p>	 <p>#134: 田中 あゆみ デジタルハリウッド大学 デジタルコミュニケーション学部 2年生</p>
 <p>#135: 片岡 玲実奈 福山大学 生命工学部生命工学科 4年生</p>	 <p>#136: 岩崎 秀直 聖学院高等学校 3年生</p>	 <p>#137: 白井 華蓮 駒沢大学 文学部英米文学科 3年生</p>	 <p>#138: 広瀬 思帆 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 2年生</p>
 <p>#139: 久保 駿貴 岡山大学 理学部地球科学科 4年生</p>	 <p>#140: 高木 超 明治大学大学院 グローバル・ガバナンス研究科 3年生</p>	 <p>#141: 江連 千佳 津田塾大学 総合政策学部総合政策学科 2年生</p>	 <p>#142: 中井澤 卓哉 筑波大学 教育学部 4年生</p>
 <p>#143: 古崎 晴貴 名古屋文理大学 情報メディア学部 4年生</p>	 <p>#144: 吉村 高彦 静岡大学 人文社会科学部経済学科 4年生</p>	 <p>#145: 佐藤 夢奏 慶野中学 2年生</p>	 <p>#146: 村竹 大翔 札幌情報経営イノベーション専門学校 情報経営イノベーション学部 1年生</p>
 <p>#147: 重政 海都 横浜国立大学大学院 2年生</p>	 <p>#148: 白井 花 東京都立国際高等学校 3年生</p>	 <p>#149: 川上 友聖 立命館大学 産業社会学部 1年生</p>	 <p>#150: 大良 萌々 駒澤大学 文学部英文学科 4年生</p>
 <p>#151: 前田 悠 福島大学 人文社会学部行政政策学類 4年生</p>	 <p>#152: 西島 和来 千葉県立船橋東高等学校 3年生</p>	 <p>#153: 熊谷 宏彰 群馬大学 社会情報学部社会情報学科 4年生</p>	 <p>#154: 竹内 董 国際教養大学 国際教養学部 3年生</p>
 <p>#155: 錦織 史哉 東洋大学 国際学部 4年生</p>	 <p>#156: 村木 風海 東京大学 教養学部 2年生</p>	<p>地球温暖化を止めて 火星に行く！</p>	



“科学の力のチャレンジメーカー”
リケンテクノス株式会社は、
頑張る学生を
応援しています！

RIKEN TECHNOS Presents

— "チャレンジ"する学生の想いに迫る —

夢らぼ

DREAM LABORATORY

番組映像は公式HPで配信!
www.yume-lab.jp

番組ナビゲーター 永田 レイナ
夢らぼテーマソング「ゆめいろ」小貫 諒

毎週土曜 夕方6時55分 放送



制作著作: BS12ch, TwiTV
リケンテクノス株式会社
矢野大プロジェクト
制作協力: JFN 関東圏

従業員とのかかわり

リケンテクノスグループでは、社員一人ひとりが「仕事を通じて成長する」ことを目指しています。また、社員がその能力を発揮できるような、安全で安心できる職場環境を整備するため、様々な施策を実施しています。

管理本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社
代表取締役
専務執行役員
管理本部長
入江 淳二

昨年から続く新型コロナウイルス感染症対応が求められる状況下、管理本部では「テレワーク」を中心とした働き方改革を推進させる一方、「従業員間のコミュニケーション強化」「モチベーション維持・向上」を実現するように、従業員の声を聴きつつ取り組んでおります。

来年度予定されております東京証券取引所の新市場区分選択に際しても、中核人材の登用等で多様性確保の目標、人材育成・社内環境整備方針の開示が求められる等、後継者計画のみならず人材育成の重要性は高まる一途です。従業員一人ひとりの成長・自立を着実に実現できるよう努めてまいります。

多様な人材の活躍に向けて

当社は社員の多様性、人格、個性を尊重し、人権および雇用機会均等などに配慮をしており、また高齢者雇用、障がい者雇用、女性活躍、子育て・介護援助などのために制度面や福利厚生のサービスで様々な取り組みを行っております。これからも社員がより安心・快適に活躍できる職場環境づくりに積極的に取り組んでいきます。

● 高齢者の雇用

定年退職後に再雇用を希望する社員を65歳まで、業務内容、勤務日数・時間などフレキシブルな働き方を考慮した上で継続雇用しております。多くの再雇用者が、若手の指導やそれまでに培った技能を伝承する貴重な存在として活躍しています。2020年度の定年退職後継続雇用の状況としては、再雇用率92%（12名中11名）となっています。

● 障がい者の雇用

当社では、障がい者の雇用を支援していくことを多様な人材活躍の一つと捉えており、様々な職場で活躍の場を提供しています。2020年度の障がい者雇用率は2.43%でした。

● 女性の活躍

当社では、女性活躍推進法の行動計画に基づき、女性が伸び伸びと活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。2016年度～2020度の行動計画は『総合職採用における女性の採用割合を30%以上とする』でしたが、期間平均で29.4%の結果となりました。2021年度からの3年間は、次の行動計画を設定し活動しています。

《2021年4月1日～2024年3月31日 行動計画》

1. 女性の採用割合を25%以上とする
2. 女性向けキャリア開発研修の受講率を100%とする(入社4年目以降対象)
3. 年次有給休暇取得率を60%以上とする

● 子の看護休暇・介護休暇制度

当社では子の看護、または家族の介護のため、最長10日の休暇を有給扱いで取得できます。

● 育児・介護休業制度

育児休業制度は、最長2年間の休業ができる制度です。さらに育児休業の一定の期間は有給としています。2017年度から2020年度の育児休業復帰率は100%です。また、介護休業制度は、のべ93日まで休業できる制度となっています。

● 失効有給休暇の積立保存制度

取得から2年後に失効となる有給休暇を、60日まで積立保存休暇として保存し、利用できる制度です。積立保存休暇は、社員の子の養育、介護、私傷病の際に取得できます。

● 半日有給休暇制度・有給休暇取得推進期間

当社では有給休暇を半日ずつ取得できる制度を導入しており、また有給休暇の取得推進キャンペーンを実施するなど、有給休暇の取得推進を図っています。

● フレックスタイム制度

繁閑に対応したフレキシブルな勤務を可能とするため、フレックスタイム制度を導入しています。

● テレワークと時差出勤の活用

新型コロナウイルス感染症感染防止とフレキシブルな働き方の実現のため、在宅勤務などのテレワーク勤務や時差出勤を実施しています。

Voice



次世代フィルムビジネスユニット ビジネスユニットマネージャー 盧 蕙権さん

私は当社フィルム事業の次世代市場を切り開くことを大きなミッションとして、情報電子分野をはじめ、多岐に渡る分野で、当社ならではのオンリーワン技術と製品を、世界を舞台に販売しています。近年では当社では数少ない女性管理職として、外国籍の部下を含めた多様な豊かなチームの育成にも携わっています。

「韓国籍の、しかも女性が」、と多くの先輩や知人に驚かれることが、私がいまも当社を誇りに思う瞬間でもあります。当社経営幹部の多くが長年海外でタフな経験をしてきたこともあり、国籍やジェンダー、考え方の違いといった社会一般的にいわれる多様性の受容にはまったく抵抗感がない社風であると感じます。むしろ、「人の成長こそ企業の成長」と当社経営陣が語るように、『あなたがどこの誰であるか』よりも、『あなたは何を志とし成長していきたいか』を尊重し、支援を行っているように感じています。これからも向上心を持った情熱ある方々をたくさん仲間に入れ、100年企業に向け清々しく逞しいリケンテクノスを作り上げたい、そしてその過程に存在したいですね。

● 社員一人ひとりの成長のために

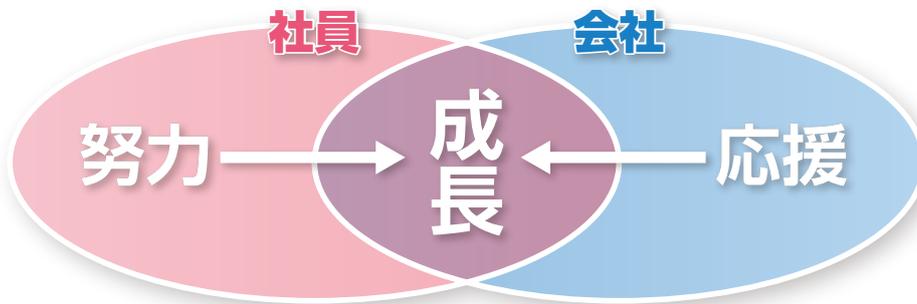
当社では階層別研修、選抜型研修などによる人材育成や、キャリア開発研修、および将来の活躍を見据えた配置転換などによるキャリアパスの充実など、社員一人ひとりが大きく成長していくことのできる教育体制づくりに取り組んでいます。

● 人材育成の考え方

当社の人材育成に対する基本的な考え方は、“社員一人ひとりが「求める力：自立・創造・実践・自律」を發揮できる最適な仕事や環境の「場」を提供する”そして、“社員の「成長」と「活躍」を応援し、それを会社の発展につなげていく”というものです。

社員と会社は、共に成長する関係にあります。社員が『会社が求める人材像にかなった人材』へと成長することにより、結果として会社も成長していきます。

〈社員と会社の関係〉



● 若手社員の選抜型育成

当社では若年層の社員に対しても、選抜型育成を実施しております。多様な考え方を知り、「使える経営スキル」を習得する機会を提供すべく、株式会社グロービスが実施しているグロービス・マネジメント・スクールへの派遣も行っています。



経営企画部 経営企画グループ 岡安 孝太さん

私は入社11年目ですが、これまでに研究開発部門、営業部門を経験し現在は経営企画部に所属しています。同年代の社員と比べ恵まれたキャリアパスを経験していますが、今回の受講は、会社経営・組織運営に貢献するため新たに自身の能力の底上げが必要だと感じていた私にとって絶好の機会となりました。通常業務を行いながらでは触れることの少ない知識や考え方の基礎について効率的かつ効果的に学習することができました。

今後は、受講で得られた知識を“知っている”状態から“常態的に使える”状態にすべく、日々の業務に落とし込んでいくのはもちろん、社内共有していくことで、会社の将来を本気で語る“仲間”を増やしていきたいと考えています。



コンパウンド製造部 廣瀬 高人さん

2021年春より研究開発部門から製造部門へ異動となり、各工場の生産性向上に取り組むことになりました。社会環境の変化により今まで以上にスピードと精度が求められており、生産性向上の重要性が増していると感じてはおりましたが、具体的にどんな知識を習得すればよいのかわからず悩んでおりました。

そのような中で、グロービス・マネジメント・スクールで得た論理的な考え方と、それを体系化する力は、いち早く活かすことのできるスキルでした。現在新しい業務を行う中で、大変役に立っております。これからも学びを実践し続けて、会社の成長に貢献していきたいと思っております。

● 各種研修プログラム

当社では、社員全体のレベルアップのため階層別研修ならびに各種研修を実施しております。2020年度は、新型コロナウイルス感染症禍の中でも、感染予防のため時にはオンラインツールを駆使しながら取り組みました。

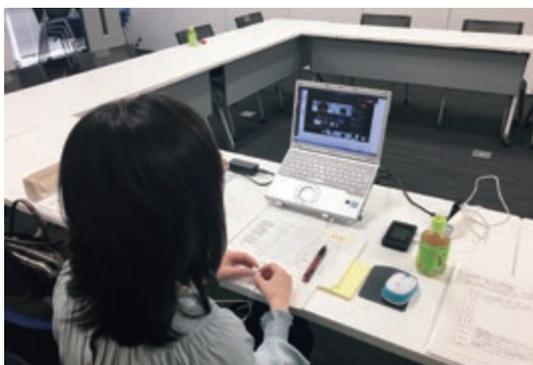
新任管理職研修

今後大きく変容していく社会情勢の中、最前線で活躍する管理職として、①マネジメントの基礎を身につけること、②課題解決力を強化することを目的に実施しています。他にも新任係長研修、中堅社員研修など毎回内容をブラッシュアップしながら階層別研修を行っています。



キャリア開発研修

自分自身のキャリア開発をどのような視点で行うべきか。外部・内部環境の把握や、しっかりとした自己分析を行う研修を実施しています。



オンラインでのキャリア開発研修風景

新入社員メンター制度

新入社員の定着と早期戦力化を目的として、新入社員1人に対して若手社員が1名、心理面からサポートを行うメンター制度を毎年実施しています。

新入社員研修

入社後に当社の業務内容や基本的なビジネスマナー、各種制度などを学ぶ研修を実施しています。その後は、工場の現場実習、フォローアップ研修を通じて社会人として、また当社の社員として必要な知識・スキルについて学んでいきます。

語学研修

グローバルに活躍してもらうために、海外赴任時語学研修、TOEICテストの実施、通信教育による語学学習サポートなどの制度を整えています。

安全衛生活動

安全衛生の考え方

当社は、人間尊重を基本とし労働安全衛生を企業活動の最も重要な基盤のひとつと考え、健康で安全な職場環境の維持向上に努めます。ISO45001に沿った労働安全マネジメントシステムにて活動しています。

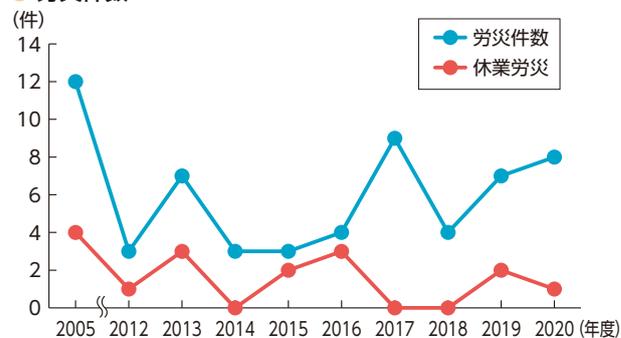
「リスクアセスメント」による

危険・有害源撲滅活動の定着

2003年にリスクアセスメント(RA)を導入後、職場に潜んでいる危険・有害要因を排除・隔離し、リスクを低減させる未然防止型の改善活動が定着しました。「労働災害

ゼロ」から「危険ゼロ」となるように、安全意識向上と危険改善・システム改善の活動を全員参加で進めています。

労働災害数



RIKEN VIETNAM CO., LTD.



RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.



PT. RIKEN INDONESIA



上海理研塑料有限公司

海外拠点での安全教育風景

活動の見直し

2020年度は、「労働災害ゼロ」に向け、「RAの推進」「指差呼称の推進」「過去の労災情報の共有化と原因の振り返り」「不安全行動、不安全状態の撲滅」「自主作製労災防止ビデオによる安全衛生基礎の再教育」を中心に活動いたしました。しかし、休業労災1件、不休労災7件と合計8件の労働災害が発生しました。原因別にみると設備に対する安全対策の充実に伴い、重度の労働災害は減少に転じましたが、作業者の理解・認識不足によるヒューマンエラーが増加傾向となりました。今後は、2019年度に導入されたリモートワーク環境を活用した「Web版KYT」による新しい教育手法の運用、「労災撲滅メルマガ」の配信をとおして、社員の「リスクアセスメント能力の向上」に注力していきます。



携帯電話/タブレット画面



実際の労働災害写真で教育

国内での安全衛生教育

2021年入社の皆さん

当社の将来を担う新入社員の皆さんに、リケンテクノスグループの一員としての自覚を持って働いてもらうため、入社式の際に当社で活躍するための意気込みを書いてもらいました。

皆さんが、今後大きく成長し活躍することを期待します。

一日も早く社風に馴染み、
戦力になれるよう
頑張ります。



いち早く名実共に
リケンテクノスの一員となれるよう、
先輩を見習い
努力して参ります!



チャレンジ精神を持って行動し、
信頼される人になれるよう
頑張ります。
よろしくお願いいたします。



社会人になったという自覚を持ち、
一日でも早く戦力として
働けるよう
努めてまいります。



技術者とお客様の
架け橋になれるよう、
精進いたします。
よろしくお願いいたします。



ポジティブが売りです。
明るく前向きに
がんばりたいです。
海外でも活躍したいです!



社会人としての自覚を持ち、
日々精進していきたいと思えます。
どうぞよろしく
お願いいたします。



仕事を通じて
働く事への喜びを見出し、
人として成長し
頼れる人間になります。



私は真面目にコツコツと
物事に取り組む性格で
几帳面さには
自信があります。



新社会人として
社会に貢献できるように
がんばります。
よろしくお願いいたします。



私はスポーツをたくさんしてきたので
体力には自信があります。
よろしくお願いいたします。



私は小学校の頃から和太鼓をやっていて
体力には自信があります。
その持ち前の体力を
活かして頑張ります。



一日でも早くお役に立てるような
人材になる為に
精進してまいりますので、
よろしくお願いいたします。



高校時代は無欠席で皆勤賞を
いただきました。これからも
健康な状態で仕事に
取り組めるよう頑張ります。



自分の苦手な所は改善し、
得意な所は仕事で
伸ばしていきながら
頑張ります。



自分の強みである体力を活かしながら
一日でも早く仕事を覚え、
一人前になれるよう
頑張ります。



学べる事は全力で学び、
楽しめる所は全力で楽しむ。
そして、豊かな人として
成長したいと思います。



先輩方についていけるように
コミュニケーションを絶やさず
頑張っていきたいと
思います。



株主様とのかかわり



組織統治



株主の皆様のご支援に対し厚く御礼申し上げますとともに、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

● 株主総会に関する取り組み

リケンテクノスの株主総会は、より多くの株主様に参加していただけるよう、株主総会が集中する日程を避けて開催しています。

株主総会の議題を十分に検討いただくため、招集通知の早期発送と発送前のWeb開示を行っています。また、議決権行使を円滑に行っていただく取り組みとして、インターネットによる議決権行使と招集通知の英訳を行っています。

● 配当に関する基本方針

リケンテクノスは、中長期的な企業価値の向上をとおして株主還元を図ることを経営上の重要課題のひとつと位置付けており、配当については、連結配当性向30%程度をひとつの目安とした上で、今後の事業投資と自己資本の充実等も勘案し、安定的な配当を行うことを基本方針としています。

この方針に基づき、2021年3月期の期末配当金については、1株当たり12円とし、中間配当金を含めた年間配当金は1株当たり16円とさせていただきます。

基準日	1株当り配当金		
	中間	期末	年間
2017年3月期	5円00銭	6円00銭	11円00銭
2018年3月期	6円00銭	6円00銭	12円00銭
2019年3月期	6円00銭	8円00銭	14円00銭
2020年3月期	8円00銭	8円00銭	16円00銭
2021年3月期	4円00銭	12円00銭	16円00銭

● 情報開示について

リケンテクノスは、常に株主や投資家の皆様の視点に立った迅速、正確かつ公平な会社情報の開示を適切に行っています。皆様に事業活動の状況や戦略などへの理解を一層深めていただけるよう、東京証券取引所の適時開示基準以上の積極の開示に努めています。

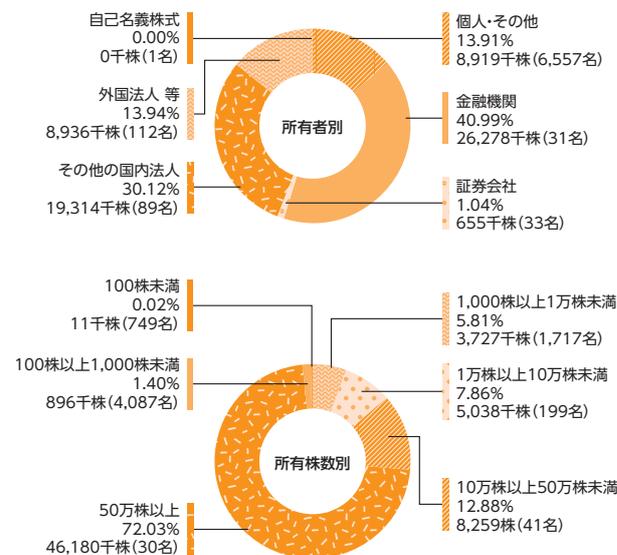
また、リケンテクノスWebサイトに財務・IRに関するページを設け、決算短信、有価証券報告書、その他の適時開示資料などを情報開示後（プレスリリース）、速やかにリケンテクノスWebサイトにも掲載しています。

● 株式状況・株主の構成 (2021年3月31日現在)

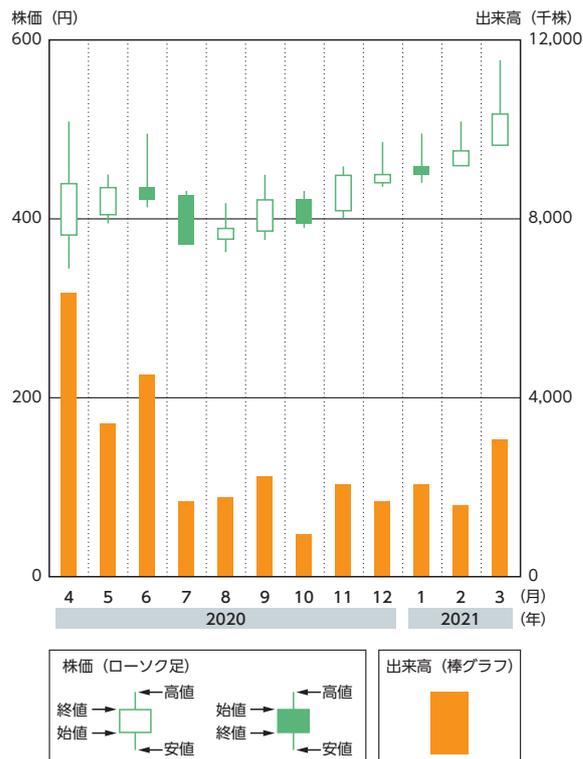
● 株式の状況

発行可能株式総数	236,000,000株
発行済株式の総数	64,113,819株
株主数	6,823名

● 所有者別・所有株数別株式状況



● 株価および出来高の推移



品質および環境活動

品質保証本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社
執行役員
品質保証本部長
たさか みちひさ
田坂 道久

品質保証本部は、品質方針「顧客第一、品質第一を念頭に置き、信頼性の高い製品・サービスを提供する」および環境方針「環境との調和に配慮し、地球環境の保全と持続可能な社会を実現する」に基づき活動しております。

今後の品質維持向上、環境維持改善には、製品設計や生産設備仕様だけでなく、グローバル調達が進む原材料の品質や化学物質管理の重要性がさらに大きくなるため、頻繁に更新される化学物質規制の監視とリスク抽出システム導入を視野に自動化を推進していきます。

品質保証体制

リケンテクノスはISO9001の仕組みを活用しています。各生産拠点に品質保証部門を置き、原材料受け入れから製品納入まで全工程の品質管理を徹底しています。さらに、毎月生産拠点・製造課ごとに品質改善委員会を開催し、不具合の是正処置の妥当性等の確認、必要に応じて再検討、水平展開の指示等を行っています。

また、製品の開発段階より、お客様のご要望を満たし、安定した品質が得られる材料設計に注力し、新素材などの環境対応型製品も積極的に開発しています。

ISO9001 (2015) 登録証

登録日: 1998年9月14日 有効期限: 2022年8月30日

品質改善活動

2020年度は、異常を早期に発見するために統計管理、工程検査をAI化して品質の僅かな変化も察知することが可能になり製品の不良が減少しました。

2021年度は、データが不十分な初期流動品の不良削

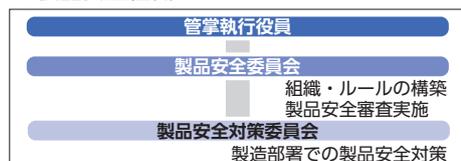
減のために、デザインレビューの厳格運用管理だけでなく、機器分析を活用した異常判定パラメータを導入し、さらなる顧客満足度向上を実現します。

安全に配慮した製品開発

製造物責任(PL)対応

メーカーに課せられた使命として、当社設立以来、製品の安全性に配慮してきました。また、製造物責任法の施行を機会に、1995年1月にPL問題の発生を防止するシステムを構築するなど、「製品の安全性」への取り組みをさらに強化しています。中心となる医療用向け製品については一度もPL問題は発生しておりません。

製品安全組織



製品安全審査手順



● 化学物質の安全性の管理強化

● 規制対象化学物質の混入防止製造ライン

RoHS2*指令など規制対象化学物質管理が必要な製品については、混入防止に有効な製造ラインを設計し、厳格な運用管理ルールを定めて取り組んでいます。

● 化学物質管理委員会の設置

「化学物質管理指針」を設定し、法律で禁止されている化

学物質審査規制法(化審法)の第一種・第二種特定化学物質の他、監視化学物質も使用禁止としています。労働安全衛生上、避けるべき化学物質も自主的に削減しています。

*RoHS2指令：有害物質の電気・電子機器への使用を制限するため欧州規制で2006年から施行された指令(6物質規制)。RoHS2は2013年に施行され2015年改正、2019年から施行された指令(10物質規制)。

● 環境管理活動

環境方針

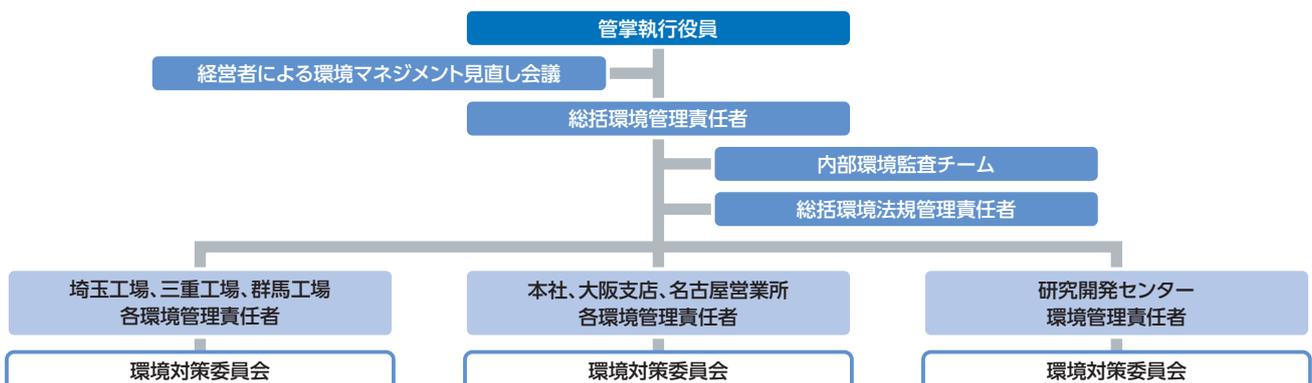
あらゆる企業活動において環境との調和に配慮し、地球環境の保全と持続可能な社会を実現するために、環境マネジメントシステムを構築し、全員参加のもとに次のことを実施します。

- 1 事業活動において、環境関連法規およびその他の合意事項の遵守のみならず、自ら規程類を定め、環境管理レベルの継続的改善、環境汚染の予防および環境保全の支援を推進します。
- 2 安全性の確保された原材料を使用し、省エネ・省資源型製品、リサイクル適合製品、生物多様性および生態系への負荷の少ない製品等の環境に配慮した、様々な素材のプラスチック製品等を社会に供給します。
- 3 持続可能な資源の利用、気候変動の緩和と対応に関して、可能な限り無駄を削減し、原材料の有効活用、使用エネルギーの極小化に努め、二酸化炭素排出量の削減と産業廃棄物の削減を行い、地球環境・生物多様性および生態系への負荷を軽減します。
- 4 環境方針を含め社内規程類を文書化し、社員への教育・啓蒙活動により、継続的な環境保全活動の定着化を図ります。
- 5 環境方針達成のために環境目的およびできる限り数値化した目標を設定し、定期的に自己評価を行い、進捗を適時管理します。
- 6 以上の活動を当社グループの活動に結び付け、各拠点における地域環境・生物多様性および生態系保全に最大の配慮を行い、安全な操業を確保します。
- 7 適切かつ正確な情報開示を行い社会からの信頼と理解を得ることに努めます。

● 環境マネジメントシステム

● 環境マネジメントシステム組織図

管掌執行役員がトップに立ち、総括環境管理責任者の指揮のもと、各サイトに環境管理責任者を置き環境マネジメントシステムを構築しています。



● 推進体制

環境マネジメントシステムを推進するため、主要な会議、委員会等の構成メンバー、機能を明確にしています。

会議、委員会名	構成メンバー	機能
経営者による環境マネジメント見直し会議	全取締役、全執行役員 総括環境管理責任者	方針、目的および環境マネジメントシステムの妥当性評価
内部環境監査チーム	有資格内部監査員	適合性監査の実施
環境対策委員会	環境管理責任者、各部門長、各部門委員	環境目的・目標の設定、是正処置・予防処置の審議、環境問題の審議

● 管掌執行役員および総括環境管理責任者と環境管理責任者の役割

全社総括管理と各サイト管理の責任を明確にしています。

責任者名	役職名	役割
管掌執行役員	品質保証本部長	環境に関する統括
総括環境管理責任者	マネジメントシステム部長	全社の環境マネジメントシステムの構築・実施・維持
総括環境法規管理責任者	マネジメントシステム部長	環境関係法規等の管理
環境管理責任者	サイトの責任者(工場長等)	サイトの環境マネジメントシステムの構築・実施・維持

● 緊急時対応

各サイト・各部門で想定しうる緊急事態を定め、緊急事態対応一覧表を作成し、定期的に訓練を実施しています。

当社は多量の化学物質・消防法危険物を原材料として購入・使用しています。そのため、化学物質の社外への流出防止および消防法危険物起因の火災予防を最重点課題として取り組んでいます。

● 品質・環境の監査の体制

(1) 内部監査

総括環境管理責任者の指示のもと、約100名の内部監査員によって毎年1回、品質、製品安全、化学物質管理をはじめとした環境マネジメントシステムの内部監査を行っています。2020年度は54部署で監査が実施され、4件の是正処置要求書が発行され、観察事項を含めると51件の指摘件数がありました。指摘事項としては、文書管理の他に、自ら決めたことが実施されていない、緊急事態対応や是正処置の確実性に不十分な部署がありました。是正の継続を確認するとともにマネジメントシステムの改善と、確実な実施を図っていきます。

(2) 外部監査

2020年は6月にサーベイランス監査を受ける予定でしたが新型コロナウイルス感染症の影響で10月に延期、審査の結果は不適合5件、改善事項11件の指摘がありました。

2021年も新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、大半をリモート監査で受審しました。結果は不適合3件、改善事項5件となりました。

2020年の顧客監査も8件と減り、ほとんどが書類監査でした。

● ISO14001 (2015) 認証取得

環境との調和に配慮した企業活動を通じ、豊かな社会の実現に貢献し、すべてのステークホルダーからの信頼に応え得る企業の構築に取り組んでいます。

環境方針を設定し、全社全部門にて同規格を認証取得しています。

初回登録 2001年10月31日 有効期限 2022年8月30日



活動結果の概要

製造本部長メッセージ



リケンテクノス株式会社
執行役員
製造本部長 兼 業務管理部長
小川 智三

製造本部は、リケンテクノスでの製造の基礎となる「リケンスタンダード」について、各拠点での理解を深め、製造品質の向上を図ってまいります。

また、国内ではモデルラインへの自動化設備、設備故障の予兆管理システムの導入を進めるとともに各工場のユーティリティー設備の見直しを実施することで、省力化および生産コストの低減に取り組んでまいります。

環境管理活動としては、引き続き省エネルギー化、廃棄物の削減、化学物質の適正管理推進に取り組んでまいります。

2020年度環境目標と実績

当社は毎年環境方針をもとに、事業環境に見合った環境目標を設定し、改善活動を進め、二酸化炭素(以下CO₂)の排出量削減、産業廃棄物の排出量削減、そして化学物質の

管理強化を主テーマとして全社横断的に取り組んでいます。

2020年度は、全社各部署合計で175件の目標が設定され、117件(67%)が達成されました。

(1) エネルギー源使用量削減

目標設定件数	達成件数	目標(2012年度比8%の削減)	結果
78	53 (68%)	①電気使用量の生産量比 0.706 MWh/t以下 ②重油使用量の生産量比 0.035 kl/t以下 ③CO ₂ 排出量の生産量比 0.426 t-CO ₂ 以下 ④総CO ₂ 排出量 36,708 t-CO ₂ 以下	①0.721 MWh/tで未達成 ②0.026 kl/tで達成 ③0.432 t-CO ₂ で未達成 ④43,879 t-CO ₂ で未達成

(2) 廃棄物削減

目標設定件数	達成件数	目標	結果
28	12 (43%)	単純(埋立・焼却)廃棄物量の総生産量比:0.1%以下 総廃棄物量の生産量比:3.5%以下	埋立・焼却廃棄物量の総生産量比は0.14%で未達成 総廃棄物量の生産量比は3.54%で未達成

(3) ①化学物質管理の強化と②環境配慮型製品の開発

内容	目標設定件数	達成件数	目標	結果
①化学物質管理の強化	33	26(79%)	独自に指定した化学物質の使用削減。環境配慮製品の開発。	①化学物質排出把握管理促進法の第一種指定化学物質の2020年度使用量は、昨年度の▲214t(14%減少)。 ②リサイクル好適材は、2020年度売上量は、昨年度の9.5%減少。
②環境配慮型製品の開発	22	12(55%)		

リケンテクノスの環境負荷の状況

当社の事業活動からは、産業廃棄物の排出、温室効果ガス(CO₂)の排出、化学物質の排出・移動が大きな環境負荷項目として挙げられます。各々排出削減や適正管理に努めています。リケンテクノス(単体)での環境負荷実態は以下の通りです。

● 生産に係わるCO₂負荷量(2020年度)

インプット		アウトプット		CO ₂ 負荷量(t-CO ₂ /t)	
原材料(塗料等含む)	94,000t	コンパウンド製品	64,000t	コンパウンド	0.19
梱包資材	3,900t	フィルム製品	13,000t	フィルム	0.90
電気	65,000MWh	包装用ラップ製品	20,430t	食品用ラップ	0.68
重油	2,400kl	総廃棄物	3,590t		
水道水	127,000m ³	排水量	294,000m ³		
地下水	150,000m ³				
工業用水	31,000m ³				

● ストック汚染・公害防止の取り組み

各サイトでは、環境法規制および自主規制監視項目について定期的に測定を実施しています。項目として排ガス、地下水、騒音、振動、臭気、放射線、粉塵などがあり、特に騒音対策に配慮しています。各工場では近隣住民の皆様と懇談会を定期的開催させていただき、環境測定値の公開、工場内の査察の実施を通じ当社の事業活動へのご理解をいただいています。

● 省エネルギーと温室効果ガスの排出削減

当社は埼玉工場、三重工場が第一種エネルギー管理指定工場、群馬工場は第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。

当社の事業活動から生じる温室効果ガス*1の主なものはCO₂です。

設備の稼働効率向上、蓄熱式脱臭炉導入、空調機のデマンド制御*2導入、工業用圧縮空気や蒸気の漏れ防止管理、省エネ照明へ切り替え等の省エネ活動を推進しています。

長年、CO₂排出量削減に主眼をおいて目標を展開してきましたが、近年、電力に関するCO₂換算係数が大きく変動することから、2014年度より、2012年度を基年度として、エネルギー源使用量の生産量比を、毎年1%削減することを目標といたしました。2020年度は2012年度比で8%削減として、電気使用量の生産量比で0.706

MWh/t以下としましたが、0.721MWh/tとなり未達成となりました。一方で、重油使用量の生産量比で0.0351 kl/t以下の目標については、0.026 kl/tで達成することができています。これは、2015年12月、群馬



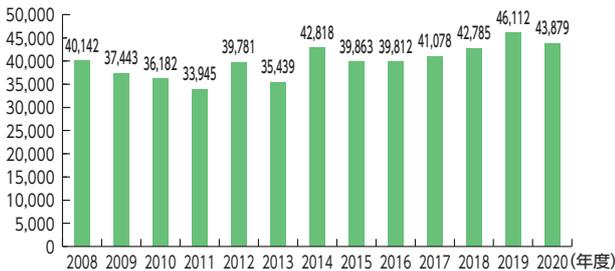
リケンテクノス株式会社
ソーラー発電所(群馬工場の敷地内)

工場にて重油ボイラーから都市ガスボイラーに変更したことが、重油使用量削減や大気汚染の低減につながっています。

2013年3月、群馬工場の隣接地で再生可能エネルギーである太陽光発電設備が稼働を開始しました。

2020年度は、群馬工場に約7万KWh供給し、約70万KWhを売電しました。

● 二酸化炭素排出量(t-CO₂)

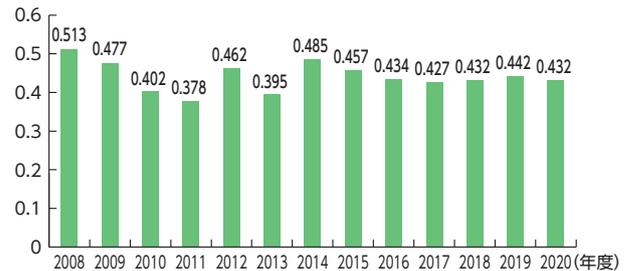


※ 2010年度から調整後の排出係数を使用した値です。

*1 温室効果ガスは、埼玉工場、三重工場、群馬工場、名古屋工場、研究開発センター、本社および各営業拠点で使用した電気、重油等の消費によるCO₂排出量を算出しました。2005年より本社を、2008年度より各営業拠点を含みCO₂排出量を計上しています。物流における石油燃料消費のCO₂排出量は除いています。

*2 空調機のデマンド制御とは、電力会社との契約電力の最大値に近づいた時、自動的に空調機の圧縮機を停止させ電力の消費を抑える制御方法をいいます。

● CO₂排出量の生産量比排出量(t-CO₂/t)



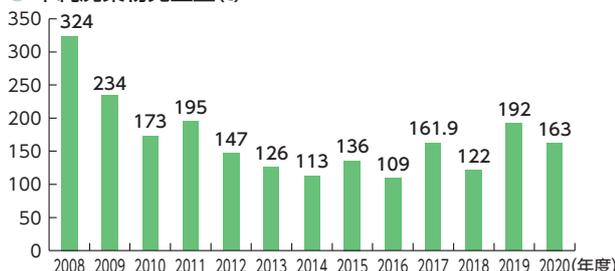
● 廃棄物の削減

当社は、製造段階で発生する単純(埋立・焼却)廃棄物の削減を環境管理活動の主要課題に位置付け、2014年度から新たな目標「単純廃棄物量の生産量比0.3⇒0.15⇒0.1%以下、総廃棄物量の生産量比5⇒4⇒3.5%以下に抑えることを目標と」に取り組むこととしました。工程改善による歩留り向上等により、廃棄物の

発生そのものの抑制を図るとともに、発生した廃棄物に関しては分別を徹底し、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクル、RPF(プラスチック由来の固形燃料)、セメント原料化等の有効利用への転換を図っています。

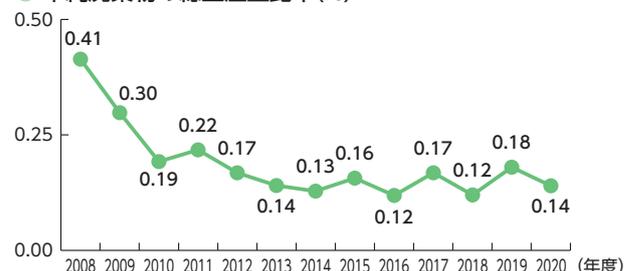
単純廃棄物量の生産量比は0.14%で目標未達成、総廃棄物量の生産量比は3.54%で目標未達成でした。

● 単純廃棄物発生量(t)



*埼玉工場、三重工場、群馬工場、名古屋工場、研究開発センター(東京)で発生した単純廃棄物量です。

● 単純廃棄物の総生産量比率(%)



● 化学物質の適正管理

当社は、従来から化学物質審査規制法、労働安全衛生法や消防法等に基づき、化学物質管理を実施しています。

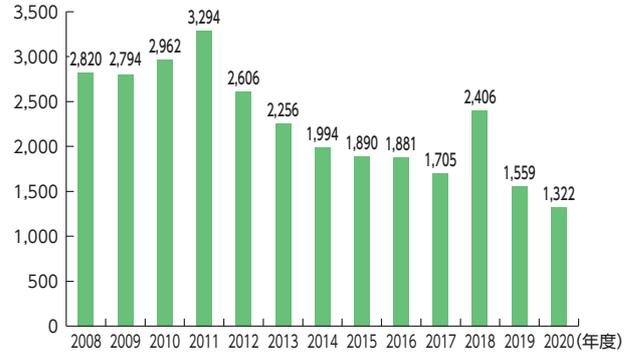
1999年度には管理徹底のため集計システムを構築し、さらに2001年4月施行の化学物質排出把握管理促進法のPRTR制度に対応できる体制を整えました。

2009年10月には、化学物質排出把握管理促進法が改正施行され、PRTR対象化学物質の種類変更があり対応しました。

そのため、2010年度より新対象化学物質の使用や排出量等の集計を実施し、2011年度には、A重油に含まれるメチルナフタレン使用量も集計に追加しています。2011年度は、当社グループ会社のリケンタイランドカンパニーリミテッドが洪水被害に遭ったことにより、日本国内において生産支援を行いました結果、化学物質排出把握管理促進法の第一種指定化学物質の使用量が著しく増

加しました。2020年度は昨年度から14%減少となりました。DEHP、トルエンおよび1・3-ジオキソラン使用製品が減少したことが主な要因です。2020年度のPRTR対象化学物質の使用種類数は28種類で、前年比2種類増加し、1t以上使用し国へ届け出たものは13種類でした。

● PRTR対象化学物質の使用量(t)



● PCB廃棄物の保管状況

2001年7月、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」(PCB^{*1}特別措置法)が施行されました。埼玉工場のPCB含有廃油845.5kgは、最終処理業者が処理を計画中です。三重工場、研究開発センター(東京)の2事業所で保管していたPCB廃棄物については、すべて処置完了しました。

また、1989年以前の重電機器には微量のPCBが含有された絶縁油が使用されている可能性が高いため、使用中のコンデンサ・トランスを順次、調査分析を進めています。

事業所名	PCB廃棄物	保管と処理状況
埼玉工場	PCB含有廃油 845.5kg(高濃度)	処理を計画中
	高圧コンデンサ 15台(高濃度)	2017年度処理完了
	高圧トランス 2台(低濃度)	2015年度処理完了
	PCB含有廃水・廃油 1,446l(低濃度)	
三重工場	高圧トランス 4台(低濃度)	2014年度処理完了
	PCB含有廃油 350l(低濃度)	
	PCB含有ウェス 300g(低濃度)	
研究開発センター(東京)	高圧コンデンサ 12台(高濃度)	2013年度処理完了
	高圧トランス 1台(低濃度)	
	PCB含有廃油 330l(低濃度)	
	PCB含有ウェス 15kg(低濃度)	

*1 PCB: PolyChlorinated Biphenyl(ポリ塩化ビフェニル)の略称

● 従業員の環境教育・啓発の実施状況

2008年度から、エネルギーの大切さ、地球温暖化(二酸化炭素排出削減)への意識向上を図ることを目的に、従業員とその家族を対象に、日常生活における「エコライフDAY」アンケートを実施しています。2020年度は従業員とその家族から(冬:1,155名)回答が寄せられ、一人当たりの平均CO₂削減量は(冬:1,000g-CO₂/日)でした。また、サステナビリティレポート報告書を社員全員に配布し、一人ひとりの活動結果がおよぼす当社全体への影響を理解するよう啓発しています。

実施季節	参加者数(名)	削減量(g-CO ₂ /人・日)
2016年度夏	1,267	950
2016年度冬	1,360	1,010
2017年度夏	1,371	1,020
2017年度冬	1,229	1,090
2018年度夏	1,261	850
2019年度夏	999	1,720
2019年度冬	1,138	1,000
2020年度夏	1,059	910
2020年度冬	1,155	1,000

● 事業活動に係わる環境法規・協定

各生産拠点、各営業拠点での遵守すべき環境法規・協定等およびその概要を「環境適用法規基準」にて明確にし、環境法規の遵守を徹底しています。

また、埼玉県地球温暖化対策計画制度・目標設定型

排出量取引制度への対応を行い、第1次計画のCO₂削減目標(基準年の6%削減)をクリアし、第2次計画のCO₂削減目標(基準年の13%削減)も順調に推移しています。

● 特定化学物質規制への対応

原材料管理については、欧州におけるREACH*1への対応、また日本における化学物質に関する諸規制の改正への対応をより充実するため、化学物質含有情報シートを改正し、2015年10月からRoHS2*2の10物質(従来のRoHS6物質に加え2019年7月規制のフタル酸エステル類4物質)の測定データ、微量残留化学物質を含めた規制対象化学物質の含有情報を収集することにしました。そして関係会社への適用も明確にし、「リケンテクノスグループグリーン調達基準」としました。

お客様に安心・安全な商品を提供することは、メーカーの使命であり、使用する化学物質の安全性を確保すること

*1 REACH: 欧州における化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則
 *2 RoHS2: P.47注釈参照ください。

は当社の重要課題として捉え、2006年度に全社横断的な組織である「化学物質管理委員会」を新たに設置しました。『化学物質管理指針』を設定し、法律で製造・使用が禁止されている化学物質はもちろん、化学物質審査規制法の監視化学物質なども使用禁止とし、鉛やトルエンなど法律で使用禁止となっていない化学物質についても、労働安全衛生上使用を避けた方が安全と思われるものは、自主的に削減することを明確にいたしました。さらには、新規採用化学物質の審査などを実施し、全社を挙げて安全性最優先の商品を提供する仕組みを構築していきます。

● 生物多様性

化学物質審査規制法第一種・第二種特定化学物質および監視物質の不使用、化学物質排出把握管理促進法PRTR第一種指定化学物質の使用削減等に取り組み、また大気汚染防止法、水質汚染防止法、労働安全衛生法等を遵守して、人への影響、生態系への影響を配慮した製品開発、生産、販売を実施しています。また、工場緑地の整備、森林整備ボランティア活動への参加を行っています。



● 環境会計

当社は、環境保全活動への取り組みに関する会計情報を2006年度より開示しています。

● 2020年度環境会計の集計基準

- (1)集計範囲:リケンテクノス全事業所(単体)
- (2)対象期間:2019年4月1日~2020年3月31日
- (3)参考文献:『環境会計ガイドライン2005年版』(H17.2環境省発行)

● 2020年度環境会計の総括

2020年度は、環境保全コスト投資額約1.2億円、費用額約12億円で合計約13.2億円でした。投資額の内訳は公害防止・地球環境保全・資源循環コストです。費用額ではRoHS2指令対応のための分析費用やISO維持活動等があり、環境配慮型製品の研究開発費用が約10億円と非常に大きなウエイトを占めています。

活動の結果の環境保全効果として、単純埋立・焼却廃棄物は生産量比0.1%以下の目標に対し0.16%で未達成。総廃棄物量は生産量比3.5%の目標に対し3.54%で未達成でした。CO₂排出量については、継続的な省エネ活動

を行いました。2012年度比8%削減目標0.426t-CO₂以下に対し0.432t-CO₂で未達成でした。また、電力原単位(電気使用量MWh/生産量t)は、2012年度比8%削減目標0.706MWh/t以下に対し0.721MWh/tで未達成となり、一方で重油原単位(重油使用量kl/生産量t)は、2012年度比8%削減目標0.0351kl/t以下に対し0.026kl/tで目標達成となりました。省エネ活動(省エネ設備投入や効率生産の工夫等)の効果によるものです。

廃プラ等の有価売却・省エネ等による費用削減等で約11.5百万円の経済効果を得ることができました。



● 環境保全コスト

単位:千円

分類	調査対象の取り組みの内容	投資額*1	費用額*2	
1. 事業エリア内コスト		114,676	176,971	
内訳	公害防止コスト	騒音対策工事、飛散防止設備の維持管理	1,559	87,738
	地球環境保全コスト	省エネ設備の導入・改善	113,117	0
	資源循環コスト	産廃処理、リサイクルコスト等	0	89,233
2. 上・下流コスト	製品含有化学物質分析費用	6,030	13,060	
3. 管理活動コスト	CSR報告書発行、ISO維持活動(外部審査費用) 排水・VOC分析、構内緑地管理費等	0	16,009	
4. 研究開発コスト	環境配慮型製品の研究開発費	0	997,813	
5. 社会活動コスト	工場周辺美化活動費、寄付金	0	400	
6. 環境損傷対応コスト	土壌調査改質費	0	644	
合計		120,706	1,204,897	

*1 投資額：対象期間中の環境保全を目的とした支出額で、その効果が数期にわたって持続し、その期間に費用化されていくもの
*2 費用額：環境保全を目的とした財・サービスの消費によって発生する費用または損失

● 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標	2019年度	2020年度	
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量(GJ)	927,403	777,961	
	種類別エネルギー投入量	電気(MWh)	78,993	65,405
		重油(kl)	2,472	2,394
		都市ガス13A(km ³)	1,137	963
		ガソリン(kl)	40	38
		軽油(kl)	3	3
	PRTR管理対象物質投入量(t)	1,560	1,322	
	水資源投入量	水道水(m ³)	129,000	126,548
		地下水(m ³)	176,000	149,761
		工業用水(m ³)	35,000	30,616
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	46,000	43,879	
	PRTR管理対象物質排出量(t)	546.8	265	
	PRTR管理対象物質移動量(t)	16.8	93	
	廃棄物等総排出量(t)	3,700	3,600	
	廃棄物最終処分量(t)	192	163	
	排水量(m ³)	322,000	294,485	
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	有価リサイクル量(t)	1,894	1,346	
その他の環境保全効果	製品等の輸送量(t・km)	24,682,013	20,252,279	
	輸送に伴うCO ₂ 排出量(t)	4,284	3,515	

● 環境保全対策に伴う経済効果

単位:千円

効果の内容	金額	
	2019年度	2020年度
プラスチック・紙屑等の再資源化による利益	9,282	5,912
省エネ等による費用削減	1,648	5,596
合計	10,930	11,508

● 資産除去債務について

2020年3月末現在 単位:千円

資産除去債務に関する会計処理は2010年4月1日より適用が開始されました。現時点での環境関連法令規定による資産除去債務を、次のように把握しています。

費用内容	処理費用
建物原状回復費	76,163
石綿使用部位の処理費	32,675
PCB使用設備更新費	0
土壌汚染処理費	63,513
合計	172,350

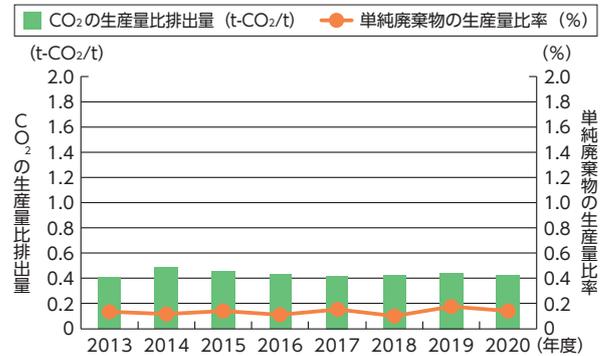
● リケンテクノスグループ環境データ

● リケンテクノス工場別環境データ

- 埼玉工場
 - 敷地面積：58,739m²
 - 事業内容：塩化ビニル樹脂をはじめとする各種熱可塑性樹脂のコンパウンド、フィルムおよびラップフィルムの製造
 - 従業員：250名
- 三重工場
 - 敷地面積：55,247m²
 - 事業内容：塩化ビニル樹脂をはじめとする各種熱可塑性樹脂のコンパウンド、フィルムおよびラップフィルムの製造
 - 従業員：247名

- 群馬工場
 - 敷地面積：55,904m²
 - 事業内容：クリーン環境下での高性能フィルムの製造
 - 従業員：38名
- 名古屋工場
 - 敷地面積：16,700m²
 - 事業内容：ラップフィルムの製造
 - 従業員：11名

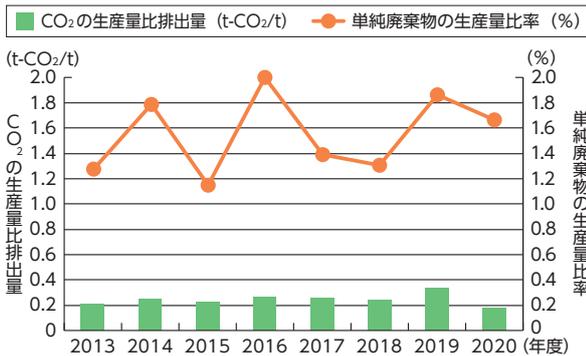
● CO₂の生産量比排出量と単純廃棄物の生産量比率 (埼玉工場、三重工場、群馬工場、名古屋工場の合計)



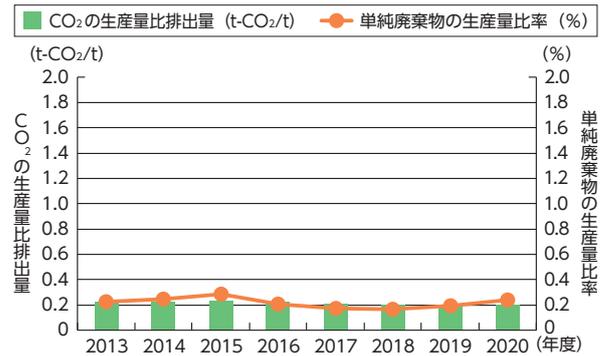
● リケンテクノス関係会社環境データ

① コンパウンド製造会社

リケンケミカルプロダクツ株式会社 従業員数42名



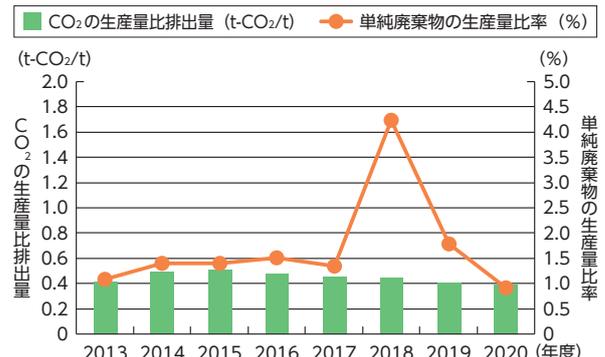
RIKEN (THAILAND) CO., LTD. 従業員数261名



RIMTEC CORPORATION 従業員数87名

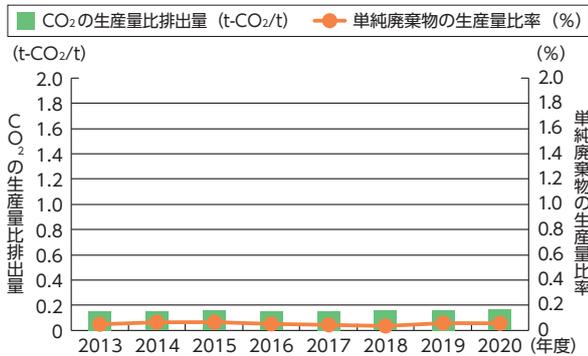


RIKEN ELASTOMERS CORPORATION 従業員数35名



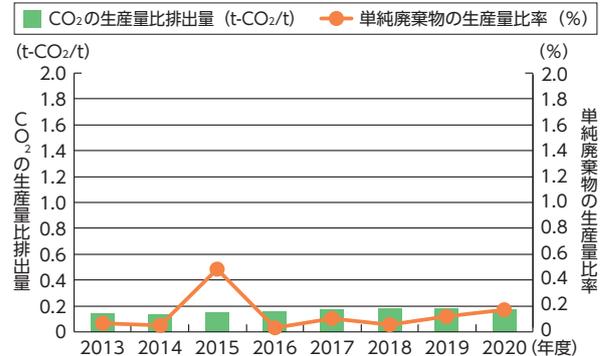
PT. RIKEN INDONESIA

従業員数 222名



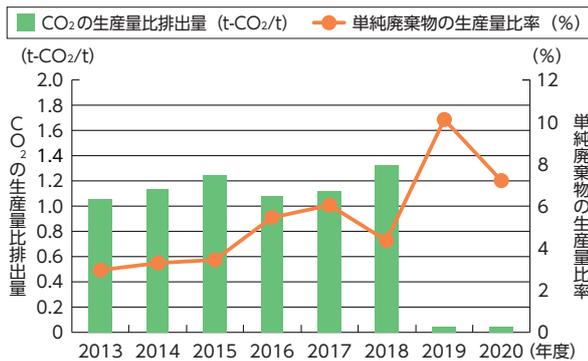
上海理研塑料有限公司

従業員数 117名

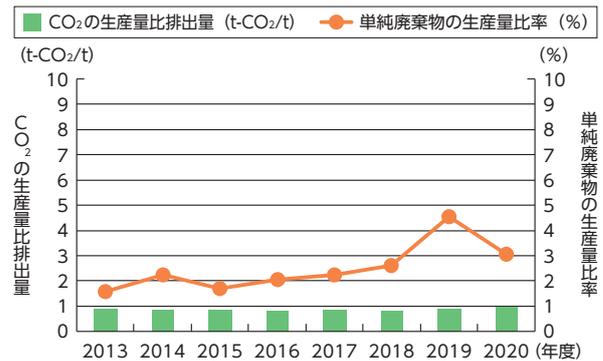


②成形会社

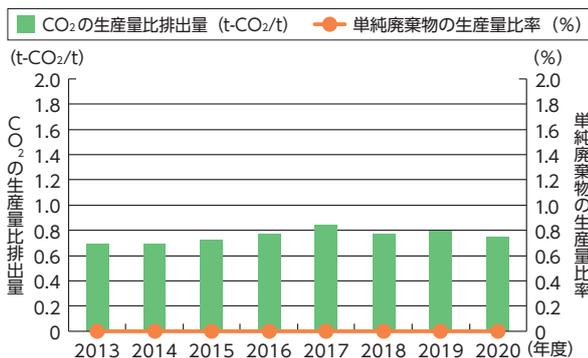
リケンケーブルテクノロジー株式会社 従業員数 64名



株式会社協栄樹脂製作所 従業員数 63名



理研食品包装(江蘇)有限公司 従業員数 51名



有識者の意見



クレイグ・コンサルティング
代表取締役
おがわ みつお
小河 光生 氏

気候変動が経営のテーマになる時代になった。日本は2050年にカーボンニュートラル社会を達成することを世界にコミットした。次のステップとして2030年の中間目標が設定されるため、経営に与える影響はもはや無視できなくなる。これを裏付けるように、近年は企業の中期経営計画の作り方が変わってきている。計画策定にサステナビリティを盛り込むことが必須になってきているのである。このような流れの中で、マテリアリティ（重要課題）をどのように実行化するか、SDGsを中長期経営の中でどのように考えていくか、といった点は今後さらに重要視されていくだろう。

リケンテクノスは現中期経営計画の中でサステナブルな社会づくりをテーマにしている。昨年からは始まった「ブルーチャレンジ」は同社の取り組みを社内外にわかりやすく発信していく媒体であり、かつ同社の活動そのものを体現したテーマとなっている。トップメッセージで常盤社長はコロナ禍の中で化学メーカーとして果たすべき責任に触れている。同社の取り組みは特集に出てくる感染防止対策の「リケガード」が有名だが、一方で医療系に使用されるコンパウンドも手掛けており、たとえばP18で紹介されている「シリンジガセット用コンパウンド」は透析患者にはなくてはならない材料である。コロナ禍で多くの会社のサプライチェーンが寸断される中で、医療材料は安定供給が特に求められる分野であり、同社が工場を安定稼働させ

て遅滞なく医療系コンパウンドを供給し続けていることは、まさに常盤社長の言われる化学メーカーとして果たすべき責任の一端ではないかと考える。地味ではあるが、高く評価されるべき取り組みである。

今後の同社のサステナブルな取り組みについて客観的に課題を3つ申し述べたい。

ひとつは人材面の取り組みである。同社がさらなる価値を顧客に提供していくために、人材はもっとも重要である。人材の成長なくして同社の価値提供は高まらない。その点で「従業員とのかかわり」(P40)はさらに力を入れてほしい。たとえば女性活躍。P41に女性活躍のKPI(定量目標)が載っているが、他社と比較してもっと高い目標を設定すべきである。施策の対象となる女性社員が少ないという理由は今の時代には通用しない。女性社員が少ないから他社よりも努力すべき分野と考える。また、人材育成面(P42)もKPIを設定してより具体的目標を開示して取り組みたい。

二つ目にCO₂排出削減、廃棄物削減の取り組みである。P51のグラフを見ると直近数年は削減幅が鈍化している。これまでの延長線上の取り組みだけではなく、思い切った施策を取り入れるべきである。冒頭申し上げた通りカーボンニュートラル社会に向かう中で、両指標はメーカーとして避けて通れないテーマであり、かつこのテーマはコストダウン成果として企業財務にも競争力をもたらせる。

最後に次期中期計画にどのような方針で臨むかという点である。同社の現中期計画は今年が最終年であり、次期中期計画を策定する年でもある。現中計でサステナビリティの基礎を築いた同社が、次期中計のテーマにどのようなサステナビリティテーマを設定し、何を改革していくのか、上記にあげたテーマも含めて高い成果目標を期待している。

有識者の意見を受けて

リケンテクノス株式会社 代表取締役 社長執行役員 **常盤 和明**

気候変動に対応するために世界で様々な目標が掲げられるなか、リケンテクノスグループではBlue Challengeの取り組みをさらに強化してまいります。次期3か年中期経営計画においても、サステナブルな社会へ貢献すべく様々な施策を盛り込みグローバルに展開してまいります。

編集後記

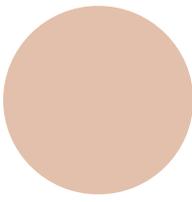
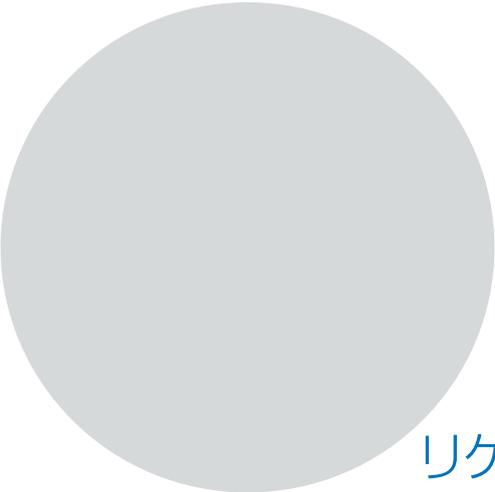
昨年度より報告書名を「Blue Challenge(ブルーチャレンジ)レポート」とし、リケンテクノスグループの挑戦をなるべくわかりやすくお伝えできるように編集いたしました。

本報告書を通じてリケンテクノスグループの取り組みをご理解いただくとともに、本報告書への率直かつ忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

本報告書取扱部署代表者
取締役 執行役員 経営企画本部長：北出 太三郎
編集メンバー
品質保証本部 マネジメントシステム部：井上 宏一、笹尾 浩章
経営企画部 企業ブランディンググループ：吉岡 さやか、大林 美桜

アンケートにご協力をお願いします。





リケンテクノス ウェイ

私たちは科学の力で
豊かさ、安心、快適を創り出す
チャレンジメーカーです
独創的で卓越した
樹脂素材の配合加工技術で
企業と人と社会に
新たな価値と喜びを提供し続けます

We are a challenger
that harnesses the power of science
to improve the quality of life
and create a safe, affluent society.
We continuously provide new value and satisfaction
to people, companies and society
through our original and superior formulations
and manufacturing technologies of multiple resins.

お問い合わせ先

この報告書の内容に関するご意見、お問い合わせは下記で承っています。

リケンテクノス株式会社 経営企画部

〒101-8336

東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地 ワテラストワー

TEL:03-5297-1631 FAX:03-5297-1660

ホームページ

<https://www.rikentechnos.co.jp>

2021年10月発行

